### 大学出版

大学と社会を結ぶ 知のネットワーク



### 大学出版部協会・ブックレット

大学出版部協会 発行/東京大学出版会 発売【2015年7月刊】

2014年5月に千代田区立日比谷図書文化館で開催された市民シンポジウム「文明の基層」(総合地球環境学研究所・京都大学学術出版会・大学出版部協会・主催/活字文化推進会議 後援)の内容をブックレット化しました。



長田俊樹 おさだとしき(総合地球環境学研究所名誉教授、神戸市外国語大学客員教授) 杉山三郎 すぎやまさぶろう(愛知県立大学大学院特任教授、アリゾナ州立大学人類学学部教授) 陣内秀信 じんないひでのぶ(法政大学デザイン工学部教授)

### 文明の基層

古代文明から持続的な都市社会を考える

A5 判 · 80 頁/定価(本体 1,200 円 + 税) ISBN 978-4-13-003152-3

古代都市のイメージは大きく変わりつつある。インダス文明の諸都市のゆるやかなネットワーク、中米の古代最大都市テオティワカンでの新しい発見。人はなぜ都市を作ってきたのか、その歴史的基層を中世ヨーロッパのヴェネツィアと比較しながら、改めて都市の魅力と未来への可能性を探る。大学出版部協会ブックレット第3弾。

### 〈主要目次〉

第一章 インダス文明:ネットワーク都市---中央集権的文明観を覆す(長田俊樹)

「大河文明」は本当か?―広大なインダス文明/インダス文字とインダス印章/草原の遺跡、海岸沿いの遺跡―大河から離れて/砂漠の遺跡の謎/「城塞」と「パスポート」―都市ネットワーク論に向けて/墓から見えるもの―格差の不在/砂丘が先か、文明が先か/インダス文明は大河文明ではなかった―農業と水害の視点/古代文明観を見直す―「穀物倉」と「アーリア人侵入説」/文明の衰退について考える/ゆるやかなネットワークの存在/都市社会をどう見るか―中央集権的文明観からの解放

第二章 新世界最大の古代都市テオティワカン:英知の集積としての都市(杉山三郎)

閉ざされた空間の多様性/文明の萌芽/認知能力=知恵こそが、文明の基盤をなす/中規模都市ができ始める/完全計画都市、テオティワカン/多くの人を迎える巡礼地として/暦と数の体系/「太陽のピラミッド」と「月のピラミッド」の二元性/墓は語る/古代人の交流―物を集めるネットワーク/文明の確立から崩壊へ―伝わり、つながる文明の諸要素

第三章 水都ヴェネツィア:交易都市から文化都市へ(陣内秀信)

水と共生する町、ヴェネツィア/逆・中央集権的構造都市―複雑に交差する水と陸のネットワーク /都市を解読する/交易都市から文化都市へ/オリエント志向と柔軟性/分散的都市から統合的 都市へ/なぜ都市に人が集まるか/城壁の無い町/都市モデル再考/川が結ぶネットワーク/水 車の活用/考古学調査がヴェネツィアのイメージを変える/ヴェネツィアの食と産物のネットワーク/ラグーナは自然・環境・歴史の宝庫―文化都市から環境都市へ

# 京都で出版社をするということ

### 三島邦弘 (ミシマ社代表)

私たちはいま、出版・実験の時代にいる。

\*

自然と足が遠のいていた。訪れたところで、悲しい気持ちになるばかり。この数年は、き通りである河原町から、文化の匂いがすっかり失せた。カラオケ屋に化けたのが、一○年前。以来、京都一の目抜力のい先日、京都に丸善が復活した。丸善のあったビルが

噂まで流れている。真相は知らない。物のレモンを市長が置いていった、というまことしやかなかのレモンを市長が置いていった、というまことしやかなる人が多いだろう。今回オープンした店にも、新潮文庫版る人が多いだろう。今回オープンした店にも、新潮文庫版京都の丸善といえば梶井基次郎の『檸檬』を思い浮かべ

ではない。では何か? と言えば、湯川秀樹『旅人』。このただし、私が丸善と聞いてまっ先に思い出すのは、『檸檬』

も今も存在している本屋へ若き湯川秀樹が通っていた!まった。「当時まだ三条通りにあった「丸善」の京都支店に、端もさして違わぬ、三校に通う一七歳の頃の記述に目が留端が人』に出会ったのはたしか高校生のときだ。自分と年女の伝記」を読んでからの憧れの一人が湯川先生であった。本で、「丸善」を知ったように思う。小学生の頃、「少年少本で、「丸善」を知ったように思う。小学生の頃、「少年少

と豪快におっしゃった。
と豪快におっしゃった。
と豪快におっしゃった。
と夢快におっしゃった。
と夢快におった。
と夢大生は、「私は京都が好きなんです」
う話に及んだ。すると先生は、「私は京都が好きなんです」
なことがあった。
慶應大学出身で、
慶應の教授を退官されなことがあっしゃった。

れをとりつづけるわけです。それでっていうんで、京都で 東京では、もう誰も見向きもしなくなっている。ずっと遅 問を吸収してしまう。その洋書が京都に届いたときには、 ね よりずっと遅かった。 と交通が不便だった時代は、 るんです。 (笑)。その数ヶ月のあいだに、 師  $\exists$ の学問 つまりね、 を紹介するのが 小の学問 箱根を越えるの は明治以来、 輸入文化。 洋書が京都 仕事。 洋書を翻訳して、 東京の学者は最新 丸善文化って呼 けれど、 に何ヶ月もかか に届くの 今より んは、 外 ば の学 東京 もっ って 来の n ż

代弁してくださったように感じた。もちろんずいぶん乱暴 なくともそれ な言い方では 『に就いた若き日の私の「実感」であった。 溜飲が下がった。東京に来てすぐに感じていた違和感を は、 あったが、真実の一端はたしかにある。 大学卒業後東京に出 てきて、 編集という すく

ことにした。世界的なオリジナルの学問

研究は、

哲学も物

は西洋の学問を輸入するのではなく、自分たちで創造する

理学もみんな京都で生まれているでしょう。

に価値 びていったような感さえある。 かえれば、 なかった。いや、消えるどころか、 東京という地で自分の出版社を起こそうが、 を置 実感 は、 あまりに「今」の価値基準だけで街全体が動 きすぎていること」が挙げられるだろう。 くと、 東京でどれだけ編集の仕事に ひとつには、 おそらく、 情報 むしろ明確 0 その違い キャ 慣 消えることは ッチア な輪郭を帯 n なようが、 和感の所 ´ップ V V

> 街を支配していた。出版という世界もまた、 くらいのことしか視野に入っていないようなスピード感が しょ」、か……。 の流行りは……」「今、時価総額で」、きわめ ているように感じられ 「これ から」といっても、せ た。「今、これが売れている!」「今 急速にその 1 つけは ぜ ٧ì

だけなのか 東京ではできない出版活動がある。 必ず、 ある。

切な何かが、こぼれつづけているような感じがするのは僕

過去、そして未来は、この街にはないのだろうか?

大

れに巻き込まれ出していた。二〇〇〇年代初頭の話

大震災の三日後には、関西へ向けて移動していたのだろう。 そのことはわかっていたように思う。 もちろん無意識レベルでの 話ではあったが、 だからこそ、 はっきりと 東日 本

理屈をいえば、

東京でしか働いたことのない私が、

関西で

( )

けれ

あ

ば、 私には 仕事ができる保証などまったくな るのだ。そう感じていたことを正直に告白します。 ではできずにいた出 どこかわくわくしていた自分があった。 避難」という意識はあまりなかった。 版の、 それも未来 の出版 ついに、 の活 本音をいえ のときの が

始まった二 名のメンバーで活動している。 \_\_ 丘に五人、 年現 拠点での活動がようやく軌道にのり出している。 京都 在、 市 ミシマ社は創業の地である東京 内 左 京区 川端丸太町) 東日本大震災の数週間後に 五. 自

が

「おもしろい」にたどり着きたい。それだけである。おそがめ、企画を練り上げるうちに、当初、思いもしなかったな総合出版社」として、「おもしろい」を大切にする。特な総合出版社」として、「おもしろい」を大切にする。特定のジャンルを出すわけでも、エキセントリックな企画を定のジャンルを出すわけでも、エキセントリックな企画を定のジャンルを出すわけでも、エキセントリックな企画を定のジャンルを出すわけでも、エキセントリックな出版社」を出る。

(白川密成著)、初めて手がけた絵本で(運良く!)産経児童ものはなんですか?』)、今秋映画化される『ボクは坊さん。』戦争論』)や、益田ミリさんのコミックエッセイ(『ほしいズ(『街場の中国論』『街場の教育論』『街場の文体論』『街場のこうして生まれたのが、内田樹先生との「街場」シリーこうして生まれたのが、内田樹先生との「街場」シリー

三〇冊ほどの本を発刊したあたりで、私自身の住処を京地方で生きるということ』などなど。(作・益田ミリ、絵・平澤一平)、近藤雄生さんの『遊牧夫婦』、出版文化賞を受賞した『はやくはやくっていわないで』(白川密成著)、初めて手がけた絵本で(運良く!)産経児童

奇人が尊ばれる地。必然、

オーソドックスな出版活動

避けては通ることのできない移住だった。て』に譲るが、新人以来の「実感」を行動に移すためには、都に移す。その経緯については拙著『失われた感覚を求め

ずだ)。「原点回帰」でありつづけるよう努めていることは、ば、世の中にもっと、「おもしろい」本があふれていていいはることが実はもっとも難しいことかもしれない(でなけれもいい。ただ、「平凡」で「ふつう」のことをやりつづけてオーソドックスに徹していた。平凡、ふつう、といって

くりかえすが、「自由が丘」時代の出版活動は、

きわ

現在もこれからも変わらない。

その流れに、「京都」が加わった。

かり、鷲田清一『京都の平熱』を引用してみる。その根っこに「奇人」を愛するという文化もある。少しばの土地で働きだしたのだ。むろん、「創造」だけではない。つまり、キャッチアップではなく、創造することが宿命

らく、もっとも企画づくりの「原点」に近いやり方ではな

いだろうか。

るという御仁のことである」で実に一本筋が通ってい確実に外れているけれど、人生、確実に一本筋が通っていとは無縁の行動をとるということ。(…)人生の習いからに無縁の行動をとるということ。(…)人生の習いから 「京都にはまだあちこちに奇人が衒いなく暮らしておら

らなかったことばかりやっている感がある。大きく分けれている。「実験」と言っていいだろう。気づけば、誰もや結果、この数年、「新しいこと」が立てつづけに起こっを許してくれないのだ。

ば、三つ。①ウェブ雑誌「みんなのミシマガジン」創刊

ーと一冊」創刊。 ②シリーズ「22世紀を生きる」創刊。③シリーズ「コーヒ

その具体的中身をざっと見ていくことにしよう。

どうするのか?がいまでは、運営費はが、ではすべての読み物を無料で読める。では、運営費はネット本来の良さが損なわれるという思いから、「ミシマ(以下、ミシマガ)を創刊した。ウェブは「無料」でないと、二〇一三年の四月、ウェブ雑誌「みんなのミシマガジン」

出版の未来が切り拓かれる。これからの出版活動は、 そのあり方を、 を名乗る資格はない。自主独立こそがメディアの基本姿勢。 来のメディアのあり方と同じである。「広告主の気をつか 広告を貼り付ける、なんてことはしたくない。それでは従 ちろん、デザイン費なども要る。だからといって、バナー って」言うべきことも言えないようでは、 き手の方への執筆料や取材費などはそれなりにかかる。 ネットは紙と比べ、格段に制作費が抑えられる。 けないと思っていた 毎日更新 時代の出版産業の のウェブ雑誌を運営していこうとすれ 従来のモデルとは違う形で運営してこそ、 (その理由は後述する)。 基礎づくりを含んでいないと もはやメディア とは ば、 同時 b V

るのが落ちであろう。

こういう「ありえない」実験を積み重ねていくと、自然、

簡単に説明すると、サポーターから年間費をいただき、上運営していくというやり方である。そこで思いついたのが、サポーター制だった。読者と共

的身体に近づいていったように思う。

がいない。「手垢がひどいです!」と言われ、 販雑誌であれば、書店からすぐに電話がかかってくるにち だけが刷られた表紙に、アクリル絵の具を手のひらに塗り はなかなかできない試みを実践できる。 いを楽しんだり、印刷技術を楽しむといった本とのつきあ 本といえば読むものと思い込んでいたのが、紙の感触の違 物だからこそできる「遊び」を盛り込む。それによって、 う。市販しない、つまり「商品」ではない、一方的な贈り しかも、送られてくるたびにデザインも違えば、 したものではなく、再編集しなおしたものが印刷される。 し、送る。 は御礼に、 それをウェブ運営費として使わせてもらう。 つけ、「手形デザイン」の装丁にしたこともある。 い方が多面的になる。 その「紙版」 毎月、「紙版 編集側は、 の読み物は、 みんなのミシマガジン」を制 ふだんの「商業出版」 ウェブをたんに紙 一度は、タイト サポ 即返品され 用紙も違 ーター もし市

なかの「檻」がくずれていった。かっこよくいえば、創造なかの「檻」がくずれていった。かっこよくいえば、自分のこうしたらサポーターさんが喜んでくれるかな、という思えたこともなかった。ただ、今月はこんな遊びをしよう、え書いたが、もちろん後付け。当初はそんなことなど考固定観念がどんどんと崩れてゆく。

3/ 1)

1

ズ

その 世紀を生きる」 勢 V 0 ま ま 12 である 生 ま n た 0 が ₹ シ マ 社 初 0

克美 電  $\mathcal{C}_{i}$ 上。 そもそも 移 行 < きが 世 は つ 0 そ 通 . て 紀 7 だ 挙 じ 丰 漬 0 を語 きて を名 が 後 練 物 げ 8 か を 消 ŋ 屋 5 n 創刊 る 乗 半 本 0 n 奇 0 じょう』 车 な だ 主 人 シ つ る か は をや 世 にろう か IJ 7 人 0 まぎれ 私 御 文化 紀 n い で 7 1 8 =あ を \_\_ 0 か ズ は Ź Ď, 語 中 0 で لح 当 to 評 ることなど誰 詩 が で は、 画 なくこ バ 内 4 居 す い 家 ッ る。 眠 to 酒 年 こん • う、 丰 樹 鷲 田 屋 0 踊 九月 れ。 1 て そ 店 田 登 ŋ なことを吹 街街 井 7 主。 Ō 先 子 刊 バ にも Ė た 場 分 生 男こそ あ ッ を 自 0) で が わ 丰 称、 だ。 そ 求 知 奇 あ 戦 ì 11 めら 5 争論 ろう 0 現 聼 井 0) 後 ず 京 バ 代 ス 力 上 ħ 都 0 ۱۴ ッ 0 7 7 Щ 市 S イ 丰 奇 い 平 内 لح い が 0 生 n 忍 井

> 身全霊 語 著者 8 11 「ただ聴 か 13 を n 9 5 丰 む 思 語 0 Ž 方 5 ろ 0 0 Ì n よう 前 で に 考 n 編 井 K Š 何 集者 ば 22 手 0 12 あ Ŀ な 世 すら 私 タ b 執 る。 本 が لح 粋 方法 しな 紀 ガ 筆 が が シ 登 いう媒 想 受 が 座 ただ 1) لح 場 外 像 ŋ け が Š Ì V う 立 n 止 ズ も つ た 介者とし 安 行 う ち L 全身全霊 0 本 8 ことに ると 現 論 為 Ē は 編 3/ 田 た ただだの IJ n 理 で V 登 集 6 は なか を 1 る い な 面 あ 7 異界を旅 超 う ズ 無 で話を に 3 0 5 **漁** 0 ち え つ お 態度 П 古 ず い 全 た が け た 述筆 き 聴 事 (そ 作 V 本 0 る 反に徹 す が う 品 な 質 お る能 記 実 記 れ ŋ を ź 験 は も 11 は で す そう さな 語 L は 0 る。 は か より < 制 n ろ 大目 な 6 ź が 5 御 創 W 0 V n す さ 5 著 刊 に ま 0 0 0 話 7 n 0 見 に 7 が 全 が バ V

認識の中の A5判·本体3400円 アミーア・アレクサンダー

後 é, 年 間 数 # ず 0 制 作 7 11 く 予 定で 11 る

飛

かどう

か

は、

媒

介 ベ

7 招

0 お

ち

5 3

0

身体

者

が

来世

紀

V

ル

0)

も

L

11

12

ま

で

Š

0

わ ベ

いけだ。 る

つ

た

0

のだけ

れど……

### 本質に迫る. A5判·本体6000円

ベルンハルト・ビショッフ

佐藤彰一. 瀬戸直彦 訳

書く |という営みを書法

(古書体学)・技術・歴史

から総合的に解説. 世界

的権威による古代・中世

- 植民地朝鮮と国家神道の論理-

青野正明

植民地期朝鮮における神

社政策の展開を帝国史の

視角から捉え. 国家神道

の論理の形成過程とその

A5判·本体12,500円

神道の

書物学の基本書.

戦後日本の論壇を牽引し た国際政治学者, 坂本義 和. 単行本や著作集に未 収録の文章を収載. 全著 作一覧を付す.

四六判·本体5700円

### ア・太平洋戦争

岩波講座アジア・太平洋戦争 戦後篇 成田龍一・吉田 裕編 日本の戦争責任・歴史認 識を問い直す

### 無限小

世界を変えた数学の 危険思想

足立恒雄 訳 数学的批判精神の勝利の

歴史を描く. 四六判·本体3800円





東京・千代田・一ツ橋 [定価は表示価格+税] http://www.iwanami.co.ip/

しれない。 
の意味では、本格的な「初」のシリーズといっていいかもの意味では、本格的な「初」のシリーズとなっている。そーと一冊」は、統一感をもったデザインとなっている。そに対し、本年五月に三冊を同時創刊したシリーズ「コーヒ「20世紀を生きる」の装丁が一冊ごとにまったく違うの

「コーヒーと一冊」では、大きく分けて、三つの実験を「コーヒーと一冊」では、大きく分けて、三つの実験をのひとつのあり方を模索しての試みである。

ないものばかりだと思っている。「未来」を考えたとき、どの三つとして欠くことのでき

みをさす。「読み切る感覚」を「もう一度」読者に味わってもらう試力ムバック」についてのみ述べる。これは、いいかえればカムバック」についてのみ述べる。これは、いいかえればここでは、紙幅にかぎりがあるため、「かつての本好き

す。薄い。一見して薄いのです。う? 何か気づきましたか? ……そうです。その通りでう? 何か気づきましたか? ……そうです。その通りで具体的には、実物を見ていただくのが一番。どうでしょ

ところでどうして、薄くて軽い本をつくったか?方、もう、「本は重い」なんてこと言わないでくださいね。よりも軽い。ぜひ試していただきたい。スマホをお持ちのている。当然、意図してのこと。しかも軽い。事実、iPhone創刊の三冊すべて、一○○ページ前後の仕上がりとなっ

く は またって しょうりごは はいかり では またって しょうりごは はいかり は まま いっと、「本を読む身体」を うな、読書がもたらす身体性は、スマホで得られる身体性 思考、広大無辺なる世界へ自分が溶けていくこと。このよ 思りで、身体が勝手に求めるもの。知の探求、粘りのある 大の問題は、身体性の変化である。読書は習慣、とはその 大の問題は、身体性の変化である。読書は習慣、とはその 大の問題は、身体性の変化である。読書は習慣、とはその 大の問題は、身体性の変化である。読書は習慣、とはその 大の問題は、身体性の変化である。

の数が増えていやしないだろうか。

おそらく、スマホユーザーであれば、途中で投げ出す本

ともめざしている。今後、半年に三冊ずつ刊行する予定だ。堰き止め、「読書する身体」を取り戻すこと、覚醒させるこ「コーヒーと一冊」の試みは、この急速に落ちゆく流れを人類は失ってしまうのではないか?

業の基礎づくりを含んでいないといけない」。 「これからの出版活動は、同時に、新しい時代の出版産

あるので述べられないが、人間と本との距離を引きはなすホというのはひとつの原因に過ぎない。ここではかぎりが体」の喪失を防ぎたいということにある。もちろん、スマ先に述べたが、こう思う理由は、大きくは「読書する身

外的環境は無数にある。

では、どうすればいいのか。

まうと、どんどんおかしくなってしまう(現に、おかしくの政治に象徴されるように)。「そっち」に解があるとしてしことだ。つまり、外とは、ビジネスのロジックであったり、ことだ。つまり、外とは、ビジネスのロジックであったり、ひとつ確実に言えることがある。それは、拠り所を、ひとつ確実に言えることがある。それは、拠り所を、

していくしかない。そう、身体のどこかで感じているのだい。勝ち負けや優劣を競う世界とは別のところから「再生」そこと距離をとるほうがいいと感じているからかもしれないま、私が京都に自らの拠点を置いている最大の理由は、

なっていっている)。

ふたたび、『旅人』を開いてみる。

ろう。

川下には丸太町橋がある」。 川下には丸太町橋がある」。 東山の峰々。川上には今出川大橋から北山。 が三校生が、一人のこらず愛した山である。その背から右 に低く、吉田山が見える。青春を謳歌し、青春に傷ついまっすぐに叡山が見えた。その右に少し低く大文字山。さ まっすぐに叡山が見えた。その右に少し低く大文字山。さ

そのものである。そう、湯川先生の青春時代、教授時代そ「三校生」を「一〇代の若者」に替えれば、現代の描写

る古民家は、「丸太町橋」の南東側にある。が、この本を開けばわかる。そして私たちのオフィスであくとも一世紀近くこのあたりの景色が変わっていないことして今もなお、同じ風景がこのあたりに残っている。少なして今もなお、同じ風景がこのあたりに残っている。少な

の本、ものとしての本を継承していく。そう考えたとき、本というものを継承していくことと同義である。紙としてという思いに駆られる。もちろんその思いは、私の場合、くれた、この変わらない風景を次代へパスしていかねば、鴨川沿いを自転車で走っているとき、先人たちが託して

この間の常識から離れて発想していくこと。そして、ひと何一つない。ひとつひとつ、この数十年のやり方を疑い、あらかじめ決められたこと、すでにわかっている解など、私たちはいま、出版・実験の時代にいる。自然と、先のようなアイデアに出会うことが多い。

どこであれ、道はなんとか拓かれていく。日の道を担保する。裏返せば、実験しつづけさえすれば、東京であれ。あらゆる地で、実験しつづけることだけが明東京であれ。京都であれ、沖縄であれ、仙台であれ、

新しい時代との邂逅は訪れないだろう。いうまでもなく

つひとつ自分たちの手で、実行していくこと。それ以外に

こんなにおもしろい時代はない。に、出版という行為そのものではないか。出版人にとっていからないからこそ、知りたくなる。そして動く。まさ

# 私たちは、これからもここで本を出し続ける 東北学院大学との連携を中心に

### 土方正志(荒蝦夷

### · 四年目の報告

5 出版活動」と題して話させていただいて、さて、それに関 に地元の出版社としてお招きいただき「地方都市における れたタイトルではなかったろうか。八月一日発行とあるか 号だった。「私たちはここで本を出し続ける-大震災である。「地域に根ざした出版」どころか、その ったご依頼だったのだが、年が明けて三月一一日、東日本 された「大学出版部協会編集部会二〇一〇年度秋期研修会」 た記憶がある。もともとは二〇一〇年一一月に仙 たあたりだったか。一時避難の拠点を構えた山形市で書い からの挑戦」と題されているが、これは編集部が付してく 本誌への寄稿は二度目となる。前回は二〇一一年の八月 私がこの原稿を書いたのはざっと六月末か七月に入っ 地 域に根ざした出版」をテーマになにか書けとい 台で開催

た 3・11 IBC 岩手放送が伝えた東日本大震災』 坂憲雄編/藤原書店)、『その時、ラジオだけが聴こえていの惨禍を超えて』(山折哲雄・赤坂憲雄著/東海教育研究所)、の惨禍を超えて』(山折哲雄・赤坂憲雄著/東海教育研究所)、の惨禍を超えて』(山折哲雄・赤坂憲雄著/東海教育研究所)、 大震災 シティア・ブック』(平凡社)、『反欲望の時代へ 大震災 シティア・ブック』(平凡社)、『反欲望の時代へ 大震災 の出版社との共同作業だった。『週末は東北へ 災害ボラの出版社との共同作業だった。『週末は東北へ 災害が

(IBC 岩手放送編/竹書房)、『未来へ伝える私の3・11

く、さまざまな雑誌の震災特集の取材を担当して記事を執(須藤文音・下河原幸恵著/偕成社)などなど書籍だけでな書房)、『地震のはなしを聞きに行く 父はなぜ死んだのか』・一人、「「人」」、「人」」、「人」」、「

特集企画

の編集をまるごと引き受けたりもした。

がテー た本 染みの土地が人が、 クなどー 来していた馴染みの土地である。 しても、 もとより震災以前から東京の出版社の東北をテー そんな仕事となった。 マとなったわけだが、どんな切り口で震災を語るに 私たちにとっては取材に営業にと震災前から行き 東北の神社仏閣や史跡自然を紹介するガイドブッ の編集を担当してはいた。それが「震災と東北 あの日を境にどう変貌したかを尋ね 旧知の人たちも多い。 マとし 歩

12 めにも仕事を出さねば」 ろでもあっ 込んだ頁を編めるのではないかと期待を寄せてくれたとこ た東京の編集者たちも、 るところもあるのだが、これは私たちに仕事を任せてくれ ば東京からの取材者には語られぬ話柄もずいぶんと聞 (震災本) さらにいえば、私たちも被災者である。 それだけに、 を編めたのではないかと私たちとしては自負す たろう。 通りすがりの取材によるものとは違 旧知 ここに暮らす私たちなら一歩踏み との厚意もまた感じさせられもし の編集者たちの 一彼らの再起のた おそらくは例え った V

### 2 地域に向ける

随筆集 のの、 郷被災 ころが 館ゼミナール講義記録』、 る『みちのく怪談コンテスト傑作選』 社編『ことばの杜へ』と『やまがた再発見1』、佐伯 知の鉱脈3』と『福島へ/福島から ジェクト編)など直接に震災に関係したタイトルもある 大震災在日コリアン被災体験聞き書き調査から』 2 0 1 3 N P O 野まごころネット被災地支援へ 学』は震災後 い 高沢マキ『 在住作家自選短編集』(道又力編) るシリーズには、『12の贈り物 ように思わ 一一年版、 福島民報 翻 って、 例えば伊坂幸太郎『仙台ぐらし』、赤坂憲雄 東北で暮らすコリアンにとっての3・11 叢書東北 麦の冒険』、高橋克彦・赤坂憲雄・東雅夫編に 詩と詩論』 私 〈日曜論壇〉 小森陽一『仙台で夏目漱石を読む たち独自の出版活動はといえば、 れるかもしれない の四号が連続して全て震災特集となっ の声」と銘打って現在既刊三二冊を数 法人遠野まごころネット編)、 ٤ 2 0 0 4 見、 西村寿行『蒼茫の大地、 東日本大震災支援岩手県 震災に関わる書目が少な 5 や『新・遠野物語 2 0 1 3 の二〇一〇年版と二 の挑 赤坂憲雄エッセイ集 戦 2 そして『 山形新 誌 仙台文学 滅ぶ』、 (同プロ 1 東日 麦 1 東 仙 異 本 遠

**る。仙台に暮らす作家のエッセイ集、伊坂幸太郎『仙台にが、いずれもが私たちにとっては「震災の本」なので** 

あ

る。

らす、 本には なさん ζ, とり頁 ことによっ る が て全てが 届 めの手がかりとなる一冊をこころ懸けた。 い きるヒ けたい か。 あ り、 し』と佐伯 なに の、 私たちの読者である。 を繰る私たちの 慰霊と鎮魂のために、生き延びるために、文学には、 ントを得ることはできないか。 か メッセー つ 「震災の本」 お二人が今をどのように感じているかがある。 ての まっすぐにいえば、 が出来るの て事態に立ち向かう知恵を手にできるのではな 東北を生きた人たちの生から、 麦 ・ジが 『麦の が読者の流 だったのである。 あった。その意味で、 か……などなど、 冒険』にもそれ 姿が 混乱の日々を過ごす読者のみ 例えば仮設住宅の一室でひ V つも頭の片隅 古典を今ここで読む 被災地を生きるた ぞれの 大半が東北に暮 私たちにとっ 今ここに にあり、 あ 0) Ħ あ

を報じ 住 た。 なさんと創刊 考えるため を編集発行。 被災地の研究機関や住民のみなさんとの共同 臨時増 岩手県遠野文化研究センターの『遠野学』(既 を伝えられた野蒜地 のみなさん 後者二誌は消え去った町の記憶を誌面 た伝 準 説 刊 の復刻だった。宮城県の東松島市奥松島 備を した この別冊として『復刻版 のグラフ誌 0 大海嘯被害録』を刊行した。 希望に寄り **『奥** 8 Ź 、松島物語』は三号を数え、 か 区などを含む地 石巻物 5 添って刊 平成の大津 語 は 行される地 明治 間 域 に留めたい 波をもうい もなく 29年 明治三陸 -の住 作業もあ 域誌であ 創 石巻市の 判三 風 判であ 民 との ちど 津波 俗画 のみ 号 5

新

同じ被災地に暮らす私たちの読者 向 11 ゖ 前 いかもしれないと、 っての 述 の東京 発信 だっ 0) 出 たとす 版社との共同 四年余りが過ぎて、 n ば、 私 作業が、 たち への発信だったといっ の 被災地 「震災 0 0 は

### 3 東北 学院大学と『 震災学』 を刊

補佐) った。 のは、 いる。 つきあ 聞社学芸文化賞」を頂戴したのを報じた河 は私の母校 災と文学」 編 学院』(東北学院東日本大震災アー 北学院の震災対 年明け早々だったか。佐々木俊三副学長(現在は学長 年二回刊行の 大学や研究機関とは震災前からさまざまに仕 宮城 報 を刊行したほ の記事を手にした佐々木副学長が 同大は古 がなにやら 震災後 同大学長室からお電話 原仙台市の東北学院大学との共同作業も始まっ にごとならんとしばらくぶりの母校に が の企画コーディネートも担当させてい でもある。『震災学』刊行のきっ の出 つ 東北の私学の雄といっていい 『震災学』 たが、 応 相 版活動によって、 か、同大地域共生推進 記録集 談があるとのことだった。 母校とは の編集と発行を担当、 [After3.11 いただい なぜか今ま カイブプロジェ 私たちが たの 東日本大震災と東 V **機構連禁** 北新報 らでご は二〇 かと思うが、 行け 事を通り かけとなった 佐々木副 東北 学校法人東 出 続 クト委員 の記事 ば 講 が 版梓会新 ただいて 各地 じて な 実 莂 0  $\dot{o}$ 

応 て、 はその 0 最 ころ、 前線に立ってい 地 域 共生推 同大災害ボラ 進機 機長とし ン テ て、 ィアス 東北学院 テ 1 シ 大学の震災対  $\exists$ ン 所 長 とし

と思 業生 いた。 私たちも震 生だと知 題した雑誌を刊行した が 大きなテー 被災地の大学として震災に関 マ木副 が つ て連 それ 出版 つ 学長の な 災をテ 絡 社 た。 りの をや した。 マとなっているのだが 東京 スパ ĺ 気迫に、 0 て 7 あ 0 ンを持 とし なたたちに任せたい 出 い い 0 る 版 た定期刊 私たちも否やは 社 0 河北新報の記事であなたが卒業 なら、 って、 では する なく、 被災地 行 そこと 発信 まず 物 地 0 の変化 必 な の 域で、 Ú をどうす だがが 緒に 要性 かっ 『震災学 や復 やり それ た。 、どうか は感じて ベ Ź も卒 興 き 0 か

誌

どとなるところだ に意思を確 そ が 0 場 小 ぞ刊 時 行 間 が 0 決 ま そ つ n た。 b 初 顔 合 ゎ せ で 互.

年夏に

創

刊。

ti

号

0

編

しれな 事故、 にわた ŋ 業中 か。 面 け 切 簡 に胸に響く。 る。 は Ď, 単に結論 災害史、 である。 現場にあるからこそい (,) まさに雑誌 L b な だが Ū 論文も載れ () かしたら、 震 取 0 復興 どの り扱う 出せる状況ではない。 これこそが被災地 である。 災と宗教、 テー ば、 0) テー 本誌 六号を数えて、 困難さが 大学の 7 ル にも現場 、ポや聞 るからこそ、 0) 震災と子供たちなどなど多 7 記事は は仮設住 出版物 雑多な誌 か き がら 5 書きも 9年 ٤ 宅 現在、 単 0 純 0 問 発 な解 ては 載る。 防潮 後 信 面 肉 題 声 0 な 0) 決策 異色 多 の 堤、 向こう が 様 っでは あ 雑多な Š 性 かか な 原 n が な 6 崪 発

### 4 外国 人被災者の被災体験を記録

たも

ŏ

とても手が

なか

った。

そこ

に佐

一々木

副学

推

移を見て では

か

なけ

ば

ならない

そ

0

た

8

には

の書 7

> 透 あ

る。

痛 い

なく

雑 行

読を出

さなけ n

れ

ばならな

そうは

思 単

0 発

V

にこそ力を発揮するので

はな

V

かとまで思う。

した。

通例ならば

持ち帰って検討してからお返事を」

長

から

0 0

お

声

が

け

であ

る。 まわら

やらねばならな

い

と即

座

観

念 な

畄

|本充弘・鹿島徹・長谷川

貴彦·渡辺賢|郎

編

じころ、 もうひとつ の出 会 1 が あ 0 た。 仙台 「で震 災復

### 岩崎信彦 著 $\bar{o}$ 論 菊判・ 五六頁 マルクスは甦る 本体三七〇〇円

の〈真髄〉が今、解き明かされる。の〈真髄〉が今、解き明かされる。

3 常石敬 って急務である。秘密裏に再稼働を進める姿勢を批判。原発が道渡所お補てオステート 発が過渡的技術であることを認識し廃炉技術の確立こそが日 著 が 《神奈川大学評論ブックレット 神 38 本体 本の産業界にと と地震予 原子力安全 1000E 知

古代

中・近代の各時代の歴史像に日・中・韓3国に共通した必須テーマで迫る

刊 案 内

金子幸子·宋 連玉 A5判:二六〇頁·太編集委員 早川紀代·秋山洋子·伊集院葉子·井上和枝· の歴史を予見する ヘイドン・ホワイト 史を射つ をひら バークらの論考で20世紀までの歴史を総括し ヒストリー・ナショナルヒストリー言語論的転回・文化史・パブリック 東アジア世界女性史・ジェンダー史からみる A5判·四四〇頁·本体五五 A5判:二六〇頁·本体I 八〇〇円 00 茁

御茶の水書房 〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 電話03-5684-0751

http://www.ochanomizushobo.co.jp.

話題の ター れた。 手しており、 に沿岸被災自治体と共同で外国人被災者の実態調査にも着 組みながら、 を継いで同所長)として学生たちと沿岸被災地支援に取り 害ボランティアステーション 郭基煥東北学院大学経済学部教授だった。 文学部教授 点となった ンポジウム終了後、 たに 所長)もパネリストとして出席、 関 聞けば、 なか するシンポ この問題に触れた赤坂教授に (福島県立 「東北 外国人被災者の支援にもあたってい 赤坂教 郭教授は在日韓国人三世。東北学院大学災 学 ジウムが ひとりの大柄な男性が近づい 授は外国人被災者の問題に 博物館館長/岩手県遠野文化 の提唱者である赤坂憲雄学習院 るあっ 副 た。 所長 私 私も会場に (現在は佐々木 たちの出版 シンポ シンポ ジウ つい いた。 た。 てきた。 活 ジウムの 研 小副学長 究セン 動 ンムが 同時 て触 0 3/ 原

調査が始ま プが合流、 にやりましょう」と即 なければならないと話し合っていた。そこに郭教授の登場 3 ったが、やがて日韓関係をテーマとする公益財団 である。 既に赤坂教授と私たちは外国人住民の被災体験 11 このときも、 東 財 日本大震災在日コリア まずは 『異郷被災 団の た。 その 在日コリアン被災者の被災体験聞 助 成を受けて、 成果は、 座に決まった。 わずかな時間の立ち話ながら 東北で暮らすコリアンに 被災三県四二 私たちと郭教授 ン被災体験聞き書き調査 さまざまに経緯 組 四 とっ を記 0 法人韓昌 兀 き取 グ 7 の は ル 録 聞 ŋ 1 あ Ũ

「おわりに」は郭教授による。から』として結実した。同書「はじめに」は赤坂教授に、

# 5 連続講座「震災と文学」スタート

続講座「震災と文学」である。 企画・コーディネートを担当する同大地域共生推進機構連はのテーマに取り組むうちにスタートしたのが、私たちがに被災地の大学ならではの、そして被災地の出版社ならで東北学院大学の教職員のみなさんと、こうしてさまざま

いか。 を求める気配が被災地には確かにあった。 そして文学が好きな人は文学に災後のこころの拠りどころ ころはなかなか落ち着く場所を見いだせない。 ……連続講座 を対象としたそんな公開講座を立ち上げてみてはどう で文学をどのように読めば かけられるのは音楽であり、美術であり、 復旧復興が進んだにしても、 音楽が好きな人は音楽に、美術が好きな人は美術 「震災と文学」は、こうして始まった。 いいのかを考える、学生や市 被災地に暮らす人たちの それでは被災 文学なのでは それに働 良

終わって声をかけて来られ

たわけである。

佐伯 小森陽 イター)、若松丈太郎 でに熊谷達也 年一○回の講座は二○一三年度後期にスタート。 麦 赤坂憲雄 (国文学者)、東雅夫 (文芸評論家)、星亮一 (作家)、池澤夏樹 (作家)、いとうせいこう (作家)、 (民俗学者)、 (詩人)、玄侑宗久 (作家)、山 和合亮一(詩人)、 山形孝夫 (宗教人類学者)、 鎌 田 折 慧 哲雄 (ルポラ これ ま

家)の各氏に、さまざまな切り口から「震災と文学」を語アクション代表)、外岡秀俊(ジャーナリスト)、大島幹雄(作西谷修(哲学者)、アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・

っていただいた。

ごしている人たちもいる。 長もいつも最前列で講義に耳を傾けられている。 受講者がい ない受講者も その言葉に頷きながら聴き入る。 もいれば、 なかには仮設住宅に暮らしていたり避難生活中のみなさん なさんも私たちもおどろくのは、 の話が聞きたい」とやって来る人たちもいる。 た講座もある。 各回一〇〇人を超える受講生が集まり、 被災から立ち直りながら落ち着かない いる。 全回参加 あるいは、 の常連受講者もい みな講師の顔をじっと見詰い 講師の言葉に涙を浮か ノートを取る手が止まら 受講者の 二〇〇人を超え れば 松本宣郎学 この 講師 日々を過 である。 べる 講 のみ 篩

詰まるところ、

私たちは被災地にある職業人であ

Ď

た地域 着かせるため 地の人たちは、 連 のだな」とたびたび話し合い、 重樹学長室長 版社 つき痛 佐々木副学長に続い 座 . の に根差 役割なのかもしれないとの思いが都度去来する。 めつけられ 「震災と文学」は本年度も続 の契機となり得るような場を提供するの した大学や、 (経済学部教授) と講義を聴きなが ほんとうにこのような場を必要としていた た地域住民と共にあって、こころ て地域共生推進機構長を務 あるいは私たちのような地 確認している。 てい 巨大災害に 講義録 8 5 「被災 Ź もま 阿 部 0

らもここで本を出し続ける。

出版も準備中である。

にもなった、 大学出版会・プレスアート ほかにも仙台の主要四出版社 ってきた。 一三〇年を迎える母校の底力を見せつけられる思 東北 学院大学とは、 卒業生としては地域と共に歩んで二〇 書店との連動企画も増えた。 ほ かにもさまざまに連携 • 荒蝦夷) (河北新報出版センター・東北 が ,共同 企画に動くよう • 恊働を図 一六年 いだが

ことをやり続けるしかあるま が 互 な東北である。 ○万人を超える。 である。 災者・被災経験者であり、そして今もここに暮らす生活 の思いを、常に我がこととして胸の裡に抱え込んでい できない。 いにそれを理解しながら日々 東北被災三県の避難生活者は四年余りを過ぎていまだ二 あ の日」からの日々の意味を、 六度目の三月一一日を半年後に迎える、 ただひたすら 福島第一 原 粘り 発事故の行く末も見通すこと V の仕事に共に取り組 強く、 だから私たちは、 それ これ ぞれが から これ やれ 0 H る。 者 々

### 台風 の夜に考えた 沖縄県産本の行く末

### 新城 和 愽 (ボーダーインク)

いて、 る。 新聞などを通して台風 たしやー」〈素麺の炒め物〉を食べるなどなど)。 ッ 0) れる情報であり、そしてこれまでの生活文化に基づいた経 かという方向を、さらりと伝えてくれる。 「全国への情報」が、実はどこからどこへ向かっていくの 近付くのは、 の場合、熱帯海域で発生して北上し「日本」に近付いてく キー 場合は無理して出勤しない、 %知とでもいうべき台風時における過ごし方である 台風という今刻々と沖縄の島々に近寄ってくる危険につ 台風が発生すると、テレビ・ラジオ、 その時、 地元の人間が必要とするのは、 フライド もしくは首都圏への影響は……という風に、 例えばテレビの全国放送の場合だと、本州に チキンが繁盛する、 情報が発信される。 食料の買いだめでなぜかケンタ 台風の昼間 沖縄 インターネット、 台風はほとんど へ向けて発信さ は 一そーめん (台風

> これ 立ち位置のいいところだろう。 そしてさらに SNS で、まさに現場から台風 ることができる。要するに情報のグローバル化の恩恵だ。 台風情報(これが一番正確、 庁のサイトはもとより、各種の天気情報サイトや、 った情報環境である。 まうので、ついこういう書き出しになってしまった。 こうとしているのだが、外の 一刻と知ることもできる。個人発信の速報性と現場主義的 しかしインターネットの発達により、台風情報は、 はほぼ日本全国どこも一緒みたいだ。 ネット環境整備に地 という話もある)もいち早く見 雨風の強まりが気になっ 今は当たり前 域差は になってしま の状況を刻 あるが、 米軍 気

台風が近付いているなかで、

沖縄の出版事情につい

· て 書

V

東北のルーツを見つめ直し 新たな"北"の歴史像を描く 【企画編集委員】熊谷公男·柳原敏昭

刊行開始! 各2400円 「内容案内」送呈 ※7月より隔月に 1冊ずつ配本中

### ●北の原始時代

阿子島 香編 東アジアの中で独 自の発展を遂げた、東北文化の夜 明けを描き出す。 (第1回)

### ❷倭国の形成と東北

藤沢 敦編 古墳がつくられた南 部、つくられなかった北部。異なる 文化が対峙した時代を描く。(第2回)

東北の中世史 全5巻刊行中 各2400円

### 0組

七海雅人編 「幕府の植民地 | 論に はおさまらない"東北の鎌倉時代" を日本史に位置づける。(第2回)

赤澤史朗著 2500円 誰が祀られ、誰が祀られなかった のか。揺れ動く合祀基準のゆくえ。

かつて日常生活のなかにあった軍隊を、 歴史的・社会的に考える体系的シリ-各2800円

〈企画編集委員〉原田敬 荒川章二・坂根嘉弘・林 博史 河西英通・坂本悠一・山本和重

### 【地域社会編】 地域社会を問 博史・原田敬一・山本和重編

戦前、人びとの暮らしにとけ込ん でいた軍隊の風景とは?(最終回)

### 吉川弘文館

〒113-0033・東京文京区本郷7-2-8 電話03-3813-9151/価格は税別 P R 誌 「本郷」 定期購読受付中

W わ わ 3 け 0 7 で 沖 じ よう < は 縄 る な 県 な 民 0 V は が が لح Z を 沖 W L 縄 度 な 7 で 0 辺 暮 差 野 い る 古 5 そ す 0 は あ も テ 全 n 0 1 0 Н に 村 い た 常 ろ く 立 で V あ ろ ち 寄 6 る な 側 0 い 7 も 曲 い 関 ろ る

> あ う

だろう。 な を 感 こう 0 い U 7 る。 あ L た 5 今 た  $\mathbb{H}$ 後果 8 々 7 0 考 た 生 L Ž 活 て、 な 0 け な そ n か ば れ で、 な 5 沖 は 5 必 な 縄 要 い 0 0 地 ž は 元 n Ш 多 7 办 0 V る 0 意 苦 to 義 12 0 痛

必 0 央 全 地 立 要 か か な 場 放 5 全 情 0 送 報 0 情 は 々 地 報 自 向 発 分 か 0 信 た 2 は 0 ち 7 な ょ र् 0 う 11 る。 Ŕ 文 化 実 全 そ は 大 L n 多 7 لح 発 対 数 い 信 L 0 う て 視 す ベ 3 点 ク لح 自 か 1 分 5 V ル た う は ち 0

中

12 数

が

な 歴

違

和

:感を

b

つ

7 本 場

い

3 V

0 ち

だ 地

が 方

れ

が

沖

縄

県

民

多

数

0

立

場 強 V

か

的 3

史

が

あ 7

n 沖

H

0

لح

11

う位

置

け

対

L

7 لح

L

縄

0

合

 $\mathbb{H}$ 

本

لح

い

う

外

で

あ

2

う

方 出 版 0 S لح つ 0 在 ŋ 方 だと 思う

交通 七二 か 各

どう 5 1 0 ボ は か 1 1 は ダ ゎ L 意 7 1 沖 つ 見 た。 イ 縄 0 で 分 社 年 ク 0 か は 出 長 で n 0 版 る 宮 + 那 活 ところ 城 動 五. 覇 正 年 で 0 背景 勝 Ħ っだろ は 12 九 な 九 う な ti る が 年 つ 僕 年 そ は 出 1 0 7 版 る か 違 社 0 5 0 立. 和 沖 は 縄 ち 確 感 l 上 لح て か

で

V

げ

ス

な 12 形 で、 わ つ 7 きた 集 者 人 لح L 物 7 で あ 出 版 ŋ 活 動 僕 を は 続 そ け 0 て 歴 き 史 便 乗 す 3 で 出

版 か タ

5 追 て、 地 地 変 年 11 方 更 政 様 0 0 的 せ 々 時 日 车 な 格 年 海 代 差 代 洋 代 出 本 復 是 博 0 版 正 公 は لح 社 バ 帰 呼 を目 共 地 V ブ が ば 投 に 活 元 2 ル 指 資 とも 期 n 保 た 発 Z L 守 さまさ を な なう 7 県 迎 ょ 活 そ る 政 Ž 動 11 n た。 社 0 ま F 7 を 会 な b ル VI L 呼 لح 変 7 1 0 . 応 ま ン 動 円 時 11 ŋ フ ヤ た す 通 Ź ラ 社 貨 ti 7 地 整 会 交 ょ 1 沖 方 う 的 換 備 12 縄 年 0 B 追 混 12 は 時 H 左 中 い 乱 側 九 期 本 な

台風の夜に考えた 沖縄県産本の行く末

った。 という実感とは関係なく展開していたのが沖縄の出版界だ

対する反発があったはずだ。 たように思う。「地方発全国行き」という発想も、 の反省やら、 方 0) 時 カウンター というの カルチャー は、 高 度経 としての指向性があっ 済 成 長期 への 中央に あ Ś 種

どを経 縄ブームというのは、 て以降だろう。 感されてきたのは、 復されているが、沖縄においてその言葉が多少なりとも実 るようになってからだ。 二〇〇〇年以降、 って地域物産が売れるということだ。更に本格化  $\exists$ ップ「わした」が店舗展開して、ある程度の実績をあげ 方の時代」という言い方は、 沖縄の生活文化が物産化して日本全国に流通す 要するに文化発信というよりも、 沖縄サミット、朝ドラ「ちゅらさん」な 銀座に九四年、 いつも背中合わせなのだ。 全国から注視される沖縄 沖縄物産 時 代に応じて何 のアンテナシ それに伴 問題と沖 したのは 度 るし反

だと言われるようになる。 がする。 りから、 感せずにきた沖縄だが、 さてそもそも「高度経済成長」という言葉をまったく実 街や村の 日本経済の一端としてはめ込まれてきたような気 風景も少しずつ、 九〇年代初期 日本の地方都 のバ ブルの 芾 崩 滅壊あた のよう

において地下水脈のように流れて、ときおり染み出すこだび「沖縄、沖縄人とはなにか」という、沖縄の近・現代史その一方で「復帰二〇年」という節目を迎えて、ふたた

自答が局地的に注目されるようになった。わりというか、噴出する思想的マグマというか、その自問

い る、ようだ(ちなみに僕は「居酒屋独立論でもい としての国際法に照らし合わせて問い直す問題となって まりによって、「琉球独立」に関するトピックは いろいろ揶揄された「居酒屋独立論」 の」という立場だったので、あらためて自問自答の日々だ)。 今は 地方出版とは何か」という問 いわゆる 「普天間基地・辺野 いかけは、 古問題」 から、 その 「民族自 0) 社 会的 地 んじゃな 以前 な高 تغ

部 県産本」を標榜して本作りをしているからか、 ういう所なのかという問いを内在している。 ているかもしれない。僕の場合、 ふれてきた「日本」と相対する立ち位置を、 とにそれぞれの事情を抱えており、特に沖縄 から 概に「 「沖縄とは何か」という問 地方」というくくりで何が語 ボーダーインクで「沖 いがやってくる。 れる . ずっと気に の場 0) 周期: か。 合 節に 地 V ま

沖縄 だ。 版社の若手編集者を中心にして集まった際に考えたも Ì 地 があったのだ) さて ク」という会を立ち上げた。 元読者へよりアピー の出版界を盛り上げようということで、 「沖縄県産本」というネーミングは、一九九四 復帰二○年のころの を経て、 ルするために 沖縄 の出版社が作っている本を、 沖縄ブーム」(というの 「沖縄県産本ネッ 沖縄県内の出 1 ワ

県産」というのは、復帰前は、沖縄の製造業を盛り上

言葉になったことを踏まえていて、沖縄では極めてポピュ産品運動」があり、復帰後には、それが「県産品」という産品」として位置づけ、沖縄人自ら愛用しようという「島げようということで、沖縄で製造された物産や特産品を「島

「沖縄県産本」業界の実情そのままである。刊行された本のほとんどが県内で購読されているという作り手(版元)も買い手も沖縄という「県産品」は、実際、

ラーな言い回しの言葉である。

沖縄の出版社が出す本の九割ほどが沖縄に関する本で、 
という側面は大きかった。 
という側面は大きかった。

二十一世紀に入ってからである。

言ってみれば「実用書」なのである。が、道理を考えるために単純化してみると、沖縄県産本は、がんでの二つを分けて考えること自体に無理はあるだろうそもそも出版は文化活動なのか、消費行動なのか。もち

本の棚は、 沖縄県内の書店では、 も、 ための「ハウ・ツー本」と言えるかもしれ ないだろうか、と感じるのである。この島々で生きてい るためのものとして、 多くの沖縄県民はこの島で生きていくために必要な術を得 も、そしてここ数年沖縄でもっとも売れているジャ 生活文化をサブカルチャー的視点で描くコラム本にして 「御願本」、つまり沖縄の家庭内の年中行事に関する本でも、「ゆが) スを占めている。 沖縄は、 ジャンルは問わないが、 沖縄の現状を問うジャーナリスティックな内容でも、 店によって程度の差はあるが、それなりのスペ 全国的に見ても出版の盛んな地域と言わ 生活の実用として読んでいるのでは いわゆる郷土コーナー 例えば歴史を研究している本で な . 沖 -縄関係 n  $\sigma$ 

いうのもなんだが、こんなにたくさんの沖縄県産本が刊行され読者のニーズがあるということだろう(自分たちで作ってるが、郷土関係でこのくらいのスペースをとれる、つまりるが、郷土関係でこのくらいのスペースをとれる、つまりるが、郷土関係でよのくらいのスペースをとれる、つまりるが、郷土関係でいる沖縄関係の本棚は、五十五段ほどあ二○○八年に出店した「ジュンク堂書店那覇店」では、二○○八年に出店した「ジュンク堂書店那覇店」では、

、こうによ、身間に引きて、が、ハニン・こ、て、いったい誰が買うのだろうと思わないこともない)。

が占めることはごく普通にある。とた同店は、毎週店内売り上げランキングに、「沖縄県産本を含めて、売り上げランキング上位を沖縄関係の本書籍売り上げの上位に位置することもよくある。そもそもとがを出しているのだが、そこでの売り上げ上位が、一般を出しているのだが、そこでの売り上げ上位が、一般を本ニュース」という、沖縄県産本だけの売り上げランキングに、「沖縄県また同店は、毎週店内売り上げランキングに、「沖縄県また同店は、毎週店内売り上げランキングに、「沖縄県

沖縄の読者の関心は高い。沖縄独立論から嫌沖縄本的なもについて発言するようになったからだろう。そういう本もについて発言するようになったからだろう。そういう本もについて発言するようになったからだろう。そういう本もについて発言するようになったからだろう。これは普天間・ここ数年は、特に中央の出版社から全国に向けて発売さここ数年は、特に中央の出版社から全国に向けて発売さ

のまで、

ロングセラーとなっている。

< 縄 球競馬』 原猛著)、『那覇の市場で古本屋』(宇田智子著)、『消えた琉 隆史著)、『沖縄苗字のヒミツ』(武智方寛著)、『琉球怪談』(小 とはあまり関係ない。 つか並べてみると、『目からウロコの琉球・沖縄史』(上里 Ö の水中文化遺産』(南西諸島水中文化遺産研究会編)、 考えてみれば、 〈那覇まち〉 (梅崎晴光著)、『壺屋焼入門』(倉成多郎 (石崎博志著) など。 放浪記』 僕が携わってきた企画は、 ちなみにここ数年編集した本をいく (新城 (和博著)、『しまくとう そうした流 ばの 「ぼ 沖 n

こう見ていくと、歴史、怪談、まちに関するエッセイ、

用書」として読まれているのではないかと思ったのは、 というのを、この二十五年間 く興味を持ってきたことだ。 沖縄にずっと暮らして五十代を迎えた僕が、 ノン してきたのだが、これらの本 フィクショ しまくとうば が、 1の沖縄県産本作りの中で意識 僕は沖縄に住 地元沖縄では一 (沖縄語) む 同 0) 世 歴 種 |代の読者 史など、 0)

ウムが開かれた。 去年、大学出版部協会の集まりが沖縄であってシンポジ だ。年

に、

ボー

ダー

新書というシリー

ズを始めてからのこと

はないか、という趣旨のことを述べていた。は、出版はやはり「普遍」を目指さなければならないのでた。その内容も踏まえつつ、名古屋大学出版会の橘宗吾氏あたりをキーワードにして、沖縄の出版事情について話しあける

ところまで覚えていなかったが、 ろ話させてもらった。でも酒の席なので、そんなに詳し になって、 が……と反省のような反発のような、 くまとめられていて、 編集者が、 さて学術出版が目指すところは と言われ つい二次会まで突入して、 最初から読者を地域限定的にみるの ているように感じ、 あらためて反省してみた。 それ その後本誌にお 一普遍」 橘氏と座 あい交じった心持ち はおっしゃる通 的なものである、 っていろ は志が ŋ 低

失われてゆく ブレイザー 食物アレルギー、清 瘍性大腸炎、自閉症、肥満と腸内

フローラ、抗生剤の関係を実証

我々の内なる細菌

### する先端研究。山本太郎訳¥3200 日本鉄道歌謡史[全2巻]

1 鉄道開業~第二次世界大戦 戦後復興~東日本大震災 2

松村洋 歌謡曲、ポップス、唱歌。 鉄道ソングから読み解く類のな い日本近現代史。①¥3800②¥4200

### 20世紀を考える

ジャット 不世出の歴史家が遺 した、知的自伝=知識人論=政 治思想の精神史。聞き手T·ス ナイダー 河野真太郎訳 ¥5500

### ブリ 死の収容所で起こったこと 1942-43

ヴィレンベルク 70 万以上のユ ダヤ人が殺された絶滅収容所の 実態を初めて描いた被収容者の 鮮烈な報告。近藤康子訳 ¥3800

### 死ぬとはどのようなことか 終末期の命と看取りのために

ボラージオ 緩和医療やホスピ スを巡る誤解や偏見を正し、 後の医療と社会を説 ドイツの ベストセラー。佐藤正樹訳¥3400

### ランド炭鉱町の画家たち 〈アシントン・グループ〉 1934-1984

フィーヴァー 労働者美術講座 が生んだ異色の画家集団の軌跡 と作品を本邦初紹介。カラー図 版多数収録。乾由紀子訳 ¥5800

### 活動的生

哲学的主著『人間 アーレント の条件』のドイツ語版からの新 著者自身が多くの手を加え て成った決定版。森一郎訳¥6500



東京文京本郷 みすず書房 5 丁目 32-21 tel. 3814-0131 fax 3818-6435 (税別) http://www.msz.co.jp

0 史 を 地 識 産 地 る 消 本 を と標 出 L 続 榜 け 7 5 b n n 11 ば、 い か 2 も L n n を な あ 5 た 8 7

を追 は、 中 ぬ る で ょ 縄 求 ŋ 琉 b 0 そ 通 人に とに する 泉 歌 n 0) は 百 8 は 祖 深 た ょ 年 そ 地 た が、 < 後 8 0 域 n て様 る 0 掘 に 0 よう によ で 島 伊 は 資 れ 面 波 々 立. 料 Þ やく 白 0 普 な表象をみ 0) 己 派 0 て、 い 深 猷 蓄 0 な 僕の心に だろう。 胸 が 歴 積 V 文化 と考 場 = 中 中 所と結び 0 1 的 えて ゼ 泉 チ 資 b さる。 ょ V 料 工 染み つ わ to 餘 0 で て、 ば、 言 あ そ 0 所 11 るよ た 葉 V る n い 百 時 を見 7 ょ を う 代 引 یح 7 る 極 0 い ょ 水 た 8 2 0 لح る て、 遍 汲

県産

 $\|$ 

用

す

n

ば

口

カ は

す な う

ば

ほ

実 本

度 実

合

増

L

て、

読

著

12 1

لح

0 ル

7 に

有 徹

益

لح n

な

は る

ず

本

を目

す 携

カ わ

テ

ゴ 7

1

で 県

< 本

n は

る

も

0

匆

は

11

沖

縄

僕

が

2

き

産

学

術

لح

い

普

遍

何

よう

な う

出 <u>ح</u>

活 13

動 は

に

とっ

7 得

普

遍

とは

じどう

いうことだ

納

す

る

0

で

あ

3

が

僕

が

行

0

7

11

る

V

か

と夢 ŋ 12 は 想 つ な 0 づ る。 6 外 L な け は 7 ま ま だ ず L 方 台台 は そう を 風 L で 7 あ V る。 う V る 読 0 者 か 0 嵐 向 そう 0 け 6 V ٤ う 普 こことが 通 0 島 0 とて 本 D W

き た 0 であ

た

お

6 0

が 本

沖 <del>خ</del>

縄 L

産

本

支

へえて

き

ま 景

気

近 な

屋

て、

実

一際に

本

を

手

取

2

n

な

0

だ

بخ

n

ま

で を

0

暮

5

L

が た 7

貌

作

くなか こと z

で、 け

L

い

実

0 0

書 普

لح 通

L

て

地

元 B n

0) 風 to

文化

Þ 変 売

n

<

な

つ

7

V すご どう 活

る に行 . 今

だ

か

らこそ

た

どり

着

1

感

覚

な

0 が 0

店

が

街 い

角 う で

か 0

5

い か を

速度で消

えて

き、 0

どん

ど 中 0

6

本 小

n

い

لح

は 版

と自

分

で て、

to

崽

う

だ 普

が

胸

だろう

か

5 用

ば 0

そ

で 1 書 1)

求 が

8

5

れ

る

6

0

は

普

通

な

0

で 3 す

は

沖

長年沖縄

出

動

7

い

局

通

本

が

作

n

### の「地産地消 知 の地方性と普遍性をめぐって

### 橘宗吾 (名古屋大学出版会)

しらこの構造を反復しているように思われる。という構造をもっている。本をめぐる問題はいつもどこか書物はとじる(綴じる=閉じる)ことによって開かれる

その新 んが 加し ポジウムでは、 だった。「豊饒な出版文化を求めて」と題した初日の こられた沖縄 大学との意見交換のほかに、 鮮にみえた。 昨年 和実さんが た。 「沖縄の出版事情」について基調講演をされ、 城さんと沖 应 春の那覇を訪れたの 月に大学出版部協会の研修会が沖縄で開 研修会は、 の出版社や書店の方々との交流も大きな目的 那覇にあるボーダーインク社 「在沖出版社の現状と課題」として、各々 縄 タイムス社の友利仁さん、 大学出版部の設立を検討中 独自の精力的な活動を続けて は初めてで、多くの の新 榕樹書林の 城 8 か 次いで 和博さ Ó れ 0 シン 琉球 が新 参

歩みと悩みをとても熱く語られた。

その後、

「地方」で

屋大学出版会の私がしゃべることになっていた。会の足達薫さんが自社の活動について話され、最後に名古の「大学出版部の現状と課題」をテーマに、弘前大学出版

ていた 古本屋 沖縄 クな出 それを沖縄の出版社や書店が とだが、「地産地消 考え方に驚かされた。 場の古本屋ウララ」店主・宇田智子さんの が の実態についてほとんど知らなかった私は、 一三年)などの本を読んでいった。 その準備の意味もあって、 〈復帰後〉史』(ボーダーインク社、二○一四年)や、「市 した本 「県産本」という言葉や、 版活動をしておられることは聞 ひょっこり始めた を沖 がが 縄 0 それは一言でいえば、 読者に買って読んでもらうというこ 種の流行語になっていることから、 事前に、 本土 〈ウララ〉 本の 沖縄 の出版社の作る いてい 新城さんの 地 の出 の日々』(同、二〇 産 『那覇の市場で 地消 たも |版社がユニー 沖縄 そこに書か の出版 のの、 ぼ という ζ n

読む」とも話され、私は日本の他の「地方」の出版状況と た新城さんは、「沖縄の人は沖縄についての本をたくさん 城さん自身が当日の講演で「消費生活はもう本土とほとん 縄での出版活動の土台としてこられたのだと思う。 ビヴァレントな気持ちが表明されている。まさにそれを沖 縄タイムス』紙での連載を元にした新城さんの上記著書で 的な独立性の高さ、というよりもその強い意識がある。 があり、他方では、 流通を含むその出版資源へのアクセスが不便だということ という面もあるようだった。 はずいぶん違うなと思った。たとえば名古屋(ないし愛知) ど変わらない」と言っておられた通りであろう。しかしま 日本の一「地方」化されることに対する違和感ないしアン も「ヤマト化される/されない」という言葉が出てきて、 一方では、 実際に完全に独立しているなどということはなく、 「本土」との海を隔てた物理的距 日本の他の しかし、 地方」とは段違いの文化 それ だけでは の ために、 もちろ

縄

本」に対抗するための一つの戦略として取り込んで

いる \ \ \

ある。 れば、 ことも可能だろう。 本についての本を日本の著者が日本の出版社から出し 縄の出版社から出して沖縄の読者が読んできたように、 けではなく日本の出版社の大部分も、 たのだが-性を志向するもの ショナリズム、ないしナショナリズムとしての出 れを批評する表現でもあったはずだ。 産」という言葉の裏側には 本の読者が読んできた、 方」という枠をはめられないのは、当然のことと思われた。 本の他の 密着型になっている出版部はない」と報告した。 要素に関しては、読者にせよテーマや書き方にせより を述べる中で、「大学出版部の実態をみれば、 大学とその地域に求めることが多いとしても、 地 しかしながら、 方」にある大学出版部の活動とそこでの自社 かなりの程度 つまり、沖縄についての本を沖縄ゆかりの著者が 地方」との違いもさることながら、学問が普遍 ―一つには、日本の大学出版部も、いやそれ である以上、その表現たる学術書に ―ここからが本当に言いたいことだっ 一地産地消」をしてきたということが ということである。 国産」という言葉が これを出版によるナ 日本という単位 もとより 著者を それ以外 あり、 沖縄 0 版とみる 方向 て日 一でみ と日 地 H 地 だ o) 沖

たという)のに対して、現在の日本であれば、 から本がどんどん入ってきうる(流通の時間差も小さくな 本土」との書き言葉の同一性が成立しているため、「本土 決定的な違いもある。 アメリカな

それ

は、

沖

縄

であ

n

ば

とって |地方] とは何

か

それゆえ、

シンポジウム

0

私の報告「日本の大学出版部に 沖縄の出版社との比較で」では、

してきたものとは正

でも、

読者が名古屋の本をたくさん読むとは考えにくいし、「名

地元向けの本を出している版元はあるが、名古屋の

そしてそれはまた、名古屋大学出版会で自分たちがめざ

反対の方向でもあるように思われた。

(本) ブーム」がやってくることはまずないだろう。

化している。) 学問についても論文の英語化 書に関していえば、 どとは書き言葉の し、インターネ にはなっていない ッ ŕ 同一性がわずかなため、 ということである。 理 時 工 代となって以来、 |系の学問のみならず、人文・社会系の !が求められる中で、 書籍の流通も大きく変 (しかしそれも、 そこまでの 揺らいでいる 状況

は、 たい。 らの中 と開かれた書き方の著作をめざしてきた。 関してはつねに、 制約によるところが大きい。 を除けば、 とする「地 とながら、テーマは日本に限定されるわけでは 高品質の生産も、 る出版に特化 はめざしてきたわけではない、ということを確認 だが、この点に 海外の需要 には たしかに、名古屋大学出版会では、ごく初期 や韓国語訳されるものも多く、 近 産 外国語による出 年 している。 地消」を、 もちろん英語訳ないし英語版 (読者) 中 他の 海外への流通も困難だ、 つい 国語 地 て述べる前 の予測も、 それ 少なくともそれだけを、 訳 域でも読 版は行っておらず、 (簡体字=大陸、 しかしながら、 は、 少ないスタッフに まれうるような高 に 日本語と同 そもそも日 Ŧ 実際に という現実的 ンゴル語訳され および繁体字= 出 な レベル H 版する本に 本 自分たち |本を単 しておき によって 語 のころ V また、 それ 水準 での によ な 位

逆

の業績評価では低く見積もられがちだが

国

0

重要著作

の

翻

訳

近年

ŋ

組んできた。

さらに、

それほど多く

は

な

い

もの

にもずっと取

ざしてはこなかったのである。(ただし、 としての日本という意味でも、そこでの せている。 か らも明らかなように、そこでの著者や読者を大事に考えてこな いう意味でも、世界的 5 の本の注文もあり、 要するに、 なメトロ 首都と対比される日本 日本出 ポリスと対比され 版貿易などを通じ 地産地 後述するところか 'n る て流 地方」と 消」をめ 通 z

かったということではまったくない。)

えば、 見出し、より 表現されて、まだ他の形では十分表現され ても社会的事象のそれについてもあてはまることで、 持たざるをえないといえる。これは自 る以上、 見出されると考えられるため、それはその こにこそ学術出版 とされるものも、 次元の違う、学問にとって本質的なこととし をなるべ い。そして、こうした意味での「 いったものを想像し 一挙に世界中で認識されるものではないだろう。 いうことか。 「地方」性を考えるべきだと私は思ってきた。 そのうえでのことだが、こうした意味での ある時、 く効率よく行うという面 少なくともその時点では、 崩 ある地  $\langle \cdot \rangle$ の本来的な役割 て ある時、 大づかみにいえば、一 てい V 域 くこと ただくとわかりや の言語によって、人類史上初め ある場所で、 「地方」 があると思うの があるわ ある種の I然現象 特定 的な知識 般に普遍 V いけだが すい う制 瞬間に ていない事柄と て の認識につい 0) 「地方」 それは 地 度 か 形をとって そうであ おい に も 方 である。 や思想を 的な真理 は L とは

これ

0

交渉

É

コ

ストをとも

な

い は

最

初

12

言

2

た意 ま

味

で

0

地

だと

V つ

う

とで

あ

る 開 な は

2

n

簡 8

単 ざ 原

12 L

は 7

進

な

V

あ 術 V で

n 出 4)

あ

7 n

b

そ 絶

0 対 な

展

及 性

を

V

< 到 居

لح L る

が

学 な L

か

重

0

2

0

圳

方

が

的

普

漏

12

は

理

的 性

12

達 直

Ž

### 原子力の深い闇

"国際原子カムラ複合体"と国家犯罪

相良邦夫 原子力から逃れるこ とが出来るのか!? 資料を駆使 して解明する告発の書。2800円

### 地域からつくる

内発的発展論と東北学

赤坂憲雄・鶴見和子 地域に立 脚した未来像を描く方途はある か。鶴見和子、最後の対話。2500円

### 南方熊楠の謎

鶴見和子との対話

松居竜五編 鶴見和子が切り拓い た、熊楠研究の到達点。雲藤等・ 千田智子·田村義也 2800円

### 一に人 二に人 三に人 近代日本と「後藤新平山脈」100人

百年先を見通した後藤新平が遺 した珠玉の名言と、関連人物 100 後藤新平研究会編 2600円

### 「アジア」を考える 2000-2015

高銀、岡田英弘、川勝平太、池澤 夏樹、大石芳野他132人の識者が 「アジア」を論じ尽す。 2800円

### 歴史の仕事場

F. フュレ 歴史学は、社会の諸 現象を理解する全体の知である。 社会科学としての歴史学を問う 浜田道夫・木下誠訳 3800円

### 量『アナール 1929-2010』 歴史の対象と方法 (全5巻)

IV 1969-1979 ル = ロワ = ラデュリ編 マテリアリスト (物質的歴史) の時代。 浜名優美監訳 8800円



大田堯/金子兜太/ 大沢文夫/大田昌秀 /大城立裕/速水融 /米谷ふみ子/中村桂子/西川潤 /藤原作弥/三砂ちづる ほか

年間購読料 2000 円(送料込) ◎見本 誌・ブックガイド呈 \*表示価格税抜 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523 振替 00160-4-17013 TEL 03-5272-0301 ホームページhttp://www.fujiwara-shoten.co.jp/

さら な普 対 い タ 7 1 的 気 b ち 遍 的 Ì な に が とさ 性 せ が 成 ネ も も 絶 る 普 科 よ لح い ッ 0 L 対 学 言 n な 及 で 遂 1 的 か غ そ げ 2 る 0 可 あ 11 な普 0 0 7 知 11 0 時 能 る 5 ょ b う が 維 ま 代 だ n 遍 う た ょ 必 to 持 13 لح 知 る 性 13 ゚゙゙゙゙゙ヺ 識 い 0 12 あ い も 考 だ to は 科 う 0 0 B 0 V Ž ろ 本 膨 学 て 0 思 で 0 う 7 う 質 大 想 لح も は は b 圳 な V 同 幻  $\langle \cdot \rangle$ は な 0 3 方 う じ 想 丰 コ 11 は 人 ス 制 で、 12 間 仮 L あ 性 は 説 度 す 1 Ł n # が 12 ぎ マ 0 Ž か か 界 な な を L せ ね なな 7 か ょ な 中 か 13 V い (,) 0 n 0 0 イ 0 け 限 は ず て 1 お بخ そ 定 相 タ 8 n لح 的 11 n · る。 対 か で で は Ð を、 相 5 ネ 4) イ

> 0 な

8 境 つ لح

نخ

す لح 制  $\mathcal{O}$ 

ベ L 約 大 あ う

き

方 そ

向 0 る

で

は で

な

い

لح

は 消 籠 お لح す

Ŀ

12 す b

4 る あ

述

ベ

た

通

n

だ 術 絶 思 本 つ

が

洯 7

7 で

中 لح

地

産 揺

地 n 7

は

学

版

だ

が

そ

n

は

簡

単

な

لح

で

は

な

い

知

識

0

展

開

普

及

は

لح

い

要

が

作

用

を

枠

組

Z

L

関

わ

7

2 る 方

0

É

な

境

界

を

0

<

つ

ŋ

そ 丰

は

知

識

想 語

あ

時

13

る n 権 لح

れ

な B  $\mathbb{H}$ 

対

٤

b

る

だろ

う。

特

 $\mathbb{H}$ 及

本 ぼ

11

う

家

ゃ

a

そこ 的 ょ 名 字 Þ は  $\mathbb{H}$ ŋ ź 古 東 す 本 作 だ。 に ところ 屋 で 用 ょ 7 0 ジ ただ 大 る 在 書 0 す 大 き 筆 で P 漢 記 で る 唯 が あ な 出 談 8 言 そ 漢 大 版 は 潜 が 語 敷 3 n 字 含 き 会 古 在 は 0 は 居 文 た 要 来 的 ま が 11 0) 朋 普 とえ 本 行 12 n 般 素 な 巻 た は 7 で 漏 0 わ い لح だ 漢 ば 中 は 性 か n 0 11 0 字 玉 7 な る な を 0 Ų 関 語 志 き が 仮 < い 係 訳 た 名 ま 向 لح 2 な Ļ 0 な 7 n 交 他 す L に تخ は U Н V る 振 も、 に 文字 また 3 H ŋ 知 3 本 4 は 文 لح 本 様 が 舞 あ を含い 先 で 語 ぅ 漢 0 V 々 ŧ ŋ 字 ほ う 文 あ لح な 0 Ž 自 む 要 لخ ŋ 言 لح 0 ع な 素 地 は 東 共 体 0 だ。 7 通 及 か が そ た が 方 非 Z 関 3) 性 中 が 現 2 漢 た 玉 わ 実

学術書の「地産地消」?

の知を いわば まれうるの べきこと、 世界を瞬時に移動するわけではないこと、にもかかわらず、 呼ぶ人もいる)に関しても、その作用は認めつつも、 さか入り組んでいるが、この広がり(リージョナルな単位と に作用するもう一つの要素としておさえておきたい。 念で捉えるような立場はここではとらない。 (二〇〇八年)で論じていたことである。 て水村美苗が『日本語が亡びるとき―― な要素が関わり作用していることで、けっしてフラットな を境界とする一 アという広 普遍性を志向する知が、「地方」性の中に生まれ、 おける諸 「襞」のある世界で、 を言いたいのだが、そこにはどのような知が含 要素の共通 か、次に一つの例をあげておこう。これはかつ 価値あるものならば がりも、 「地産地消」はめざさないということである。 普遍性を志向 性を たとえ限定的であるにせよそ 東アジア的普遍性」とい ずる 展開・普及させていく 知のもつ「地 英語の世紀の中で』 むしろ東アジ それ 様々 う概

さ

言語によって英語との関係の仕方が異なるため あいだで共通する要素を持つし― てしか生じえない〈真実〉は、 ろうというのである。そして、この「地方」 自らの母語たる英語の占める特権的な位置につい クト・アンダーソン―― 『 ことを念頭においているが、そのしばらく後で、 述べている。水村はこの箇所では第一次的には小説を書 られる」ことを、 者に対しても普及させていくことは価値のあることだろう。 ろうという認識も共通するか 共通し、また、他の言語において異なる る非英語母語者が摑みうる複雑な〈真実〉 ではないが、 て書く人間が絶対にそうした認識に到達できないというの 識できていなかった事実を指摘している。英語を母語とし の関係に深い洞察を示したあのアンダーソン―― ムの起源と流行』(邦訳一 るべきであるとか、「東アジア」という広がりにとどめ 一様ではないとしても、英語と非対称な関係をもつことは きであるとか このとき、 その普及の範囲を「 つねに英語との関係を考えることを強いられ いう主 絶望としてではなく、 張 が 九八七年)で「普遍 想像の共同体 (軍事 間違いなく非英語母語者 戦略のような場合を除けば |日本」という境界で区 なぜなら、 その認識を英語 むしろ希 〈真実〉 には及ばないだ 語と「 的なものとし ナショナリズ それぞれ 〈真実〉 がある ベネディ て十分認 ですら 望とし 0 7

意味をもつとは思えない。 水村 の論考のように最初に日本語において表現されたと にもかかわらず、もしこの認識

というもの

がありうること-

それを知るのを、

常に強い 〈真実〉

が

英語で構築された

〈真実〉

のほかにも、

英語の世界と非英語の世界との非対称的な

関係によって、

非英語

語者は

にか

(支配-

-被支配

つい

てふれ、

常に思考するのを強いられる運命にある」こと、

「この世には英語でもっ

て理解できる

日本語を含む非英語で書くことの意義に

その本の中で水村は、

現在の「普遍語」たる英語では

な

を通 かも する だと言うべ 学術と非学 ŋ それを開 لح しかも となるだろうし だと考えら 組んで いうこと な つ L てし n 5 気に ば、 な 3 い 術 が か きだろう。 < 11 れる部分もあるが ある。 から、 そ 0) 0) 普及させるため は 境 が学術 進まず、 0 (ちなみに 洯 普及 そうした道を含むも 少 も L たが なくとも 出 0 い それも含 73 つ 版 ず 英語 0 って、 れに 0 8 仕 Ę E 訳に関 地方 にせよ、 部 事だと思う 排除さ は その 分的 手間 め 他 Ź 0) しても、 には れるわ 言語 的 ことを肯定 のとし ヒ 8 な 筋 7 出 5要素 Ó 縄 んどく が  $\sim$ け 7 であ では 版 か 0 つでは 原 かか L 13 翻 理 すぎ さ 般 ź, ī か 訳 つ 11 的 な 0 て つ か b V に不 仕事 な b な つ、 必 い 道 Þ 敢 要 表 V 可 11

> これ口 りし ある。 らば、 めてしまうことには、 地産地消 た それは てしま 1 € 6 .出し とて 彼ら そうした認識 ちろ すべ が も残念な思 まずも V という枠、 ん政治 これを表現 き事柄ではな なかな って大切に 的 不 もしそれ か い 庒 少なくとも Ĺ 到達 がするが 義 ヤ 13 l されなけ か いだろう。 7 つ が文字 えなな 1 0 1 読 ン 7 そ ま チ い 0) 地 認識 n ず n 通 ユ 洞 消 りに ば は 12 な b が 11 を 主張 لح 含 は Š 5 5 な P いう つう n 12 む だされ るだろう 私 つ 11 枠 b が V は る を 素 7 あ 0 な 通 は V

認

か つ

0

じ で議論 L ねえ」「そっちこそ、言ってくれるじ なぜか泡盛 0 0 新城さんや宇 技 に愉快であった。 であったと思っている。 したことが忘れられな ではなくワインを飲みながら、 田さん、 そしてそれ そして大学出 () は あ んた、 P 彼 版部 な 5 0 V 0) 最高 で よく のことを大 仲 す 間たちと、 のも か L P Ē 声 る

\* 本稿は 『リア』三二号掲載 の拙文を改稿したも 0) で あ

医療非

キャリア 【待望の邦訳!】 •

との

係を考えることをつ

ね

に強 的

い

5

れること、

そのこと

が

も

たらす 関 で

剜

O,

ある

い

は

より

複雑な

〈真実〉

13

· つ

い

7

0

る とかえっ

の

は

な

い

だろうか

~ 0 社

支配

である 0

P 0)

× 情

'n 熱

カや|ヤ 0

7 分か

1

現され

な

7)

やス

1

ル

があることを認識

Ť

ベ

きな

だ。

沖

の夜は長

べく、

初日

0

Ť

口

グラムを終えた後

の飲み

会

たようだが、

ここまで

来

を遠

7

沖 < 知

縄 離

0 れ

出 t タ

版 L うまっ

や書店

方々

由

来

が てみる 0

ファシリテーター・ガイド パーティシパント・ワークブック ●定価3240円 セルフ・アセスメント ●定価864円 マネジメント V. ・定価3780円 変わり

E.

Hシャイン・J.

マーネン著

4th ed.の邦訳。その活用目的 変化の激しい時代を踏まえ、

的に応じ、

、3冊に分冊され刊行。 訂されたCAREER ANCHORS

■地

1客とのり

の繰り返していのツアーで

の関!

●定価7884円

量事とキー

ヤ

ij

Ź

村 琢 磨監

安部和彦著

療非課税の取扱いにつ消費税の税額計算を理 いて検に

旅行革新戦略 一度限りのツアーではなく」域デザイン学会監/原

消費税の税率構造と仕入税額控除 『係を重視する、新しい旅行のあり方なく、事業・生活・地域という観点/原田・板倉・加藤編著 ●定価38 証解。明 今後、 の諸 消外 費国 税での 議付 定価3888 定価3672円 の加 基価 礎値 をから 資税 料の に医 示旅 円

課税を中心に 東京都千代田区外神田5-1-15 TEL03-3836-4781 FAX 03-3836-9370 http://www.hakutou.co.jp/

情報の垂れ流し

無理に情報を作らなければ金を得ることができない 情報化社会は工業製品を作るのと同じく

### Imformation

それを支える私たち

Lives of Form | Form of Lives / No. 05

新しいものは 使っていれば 古くなり 折れたり 汚れたり 本は使っているうちに は

そこに存在していた時間が

の 森

知

を つ <

物への愛着となる

時を刻む 擦れたり

る

インタラクティブの世界

空間なき・地理なき世界

隣人を顧みず 遠くを優先する世界

Interactive

現代は本の時代から、 次世代メディアへの移行期 文字・音声・映像が融合され 図書館・博物館・美術館の 境界が曖昧になる

Media

冊の本という概念を希薄化させる ソーシャルメディアのコマ切れ文化は

瞬にして情報が世界を駆け巡れば ゆっくりと時間をかけて

その地域独特のものを作り上げるのは

今日、一瞬にしてその文化を

不可能になった

世界が共有してしまう

Culture

### Transmission

一瞬の価値を求める 消費社会において商業印刷物は 本とは文化の永続性を求める

### Language

現代文明は、この500年 書籍が育ててきた それは言語によって育てられた 人間の営みは全て言語が中心にある

本造りが雑になれば

本の寿命が縮む

出版社は金銭主義と文化との板挟みになる

knowledge

今日、難解な言葉は 本の中に生き続けている それは芸術も同じく 難解こそが重要なのである

本を読めば知識を増やせる 読めば読む程 己の無知に気づき

益々知識を増やしたくなる

中垣信夫 | グラフィックデザイナー Nobuo NAKAGAKI | GraphicDesigner ソーシャルメディアが本を解体する 図書館は人類の英知の墓場となる

ガラス板に歩される電子スティ

いつまでも新品のままで消え失せる

情報は物質ではない 無限に増やせる

Library

27

### 電子メディアの器械は 図書館は多言語される

本は有限空間 その体積がりに近づく

面積・体積という概念がある

### 大学出版部ニュース

その利便性の裏にかくれた暗黒面を無視

ニケーション

子化やオンライン化によって学術コミュ が発表された。この二○年余の書籍の電 ォーム時代」の事業開発から見えるも

が大きく変化したが、

実は

してはならないという興味深

い話 ソリューシ

品であ

つ

いて丸善㈱・学術情

報

る「いま大学の現場から求められている

大学における教育・

教材開

発

ع

ョン事業部の

伊藤啓氏と大熊高明氏によ

ね

版会の鈴木哲也氏による「「プラットフ

ナーのプレ報告として、

京都大学学術出

市

秋韓国ソウルで開催される日韓合同

セミ

黒田理事長の開会挨拶のの

表示価格は税別です。

日目は、 いう事例に沿 一げたい。 な案内と説明をつけてい グループに分けて、それ 程などを見学させてもらった。 機と㈱渋谷文泉閣 や貴重な活版資料館、 協会の賛助会員でもある亜 参加したある出版会の方か て両社のご配 った報告があっ の二社に最新 虚に御礼を申 れぞれ 上製本 た。 翌る二 細亜 - の製 の印

が

が

あ

この北京

0

夏はどことも変

夏であった。

県ビル会議室で、 月二〇日から三日 野で夏季研修会が開 が開催された。 帳で賑わった長野 全国から四 会場は 協会恒例 か n ○名が参加 JA 長野 の夏季 市 版がモノ

のご開

実感しましたとの感想が寄せられ 第二二回 北京国際図書博覧会に

### 協会がブース出展

った。 ではなく、 ており、 えるのだとい 地域が参加、 覧会は二万坪におよぶ会場 ておく必要があ らのニー などもあった。 まわった。 ツ担当を連れて書籍情報の探査に歩 は一二〇の出展社 ア本来 タベー 京空港 -内北郊にある国際展覧センターに てくる中 ジェント担当者が中国 (月二六日午後、 心暑 今日が初日となる北京国 館時間 小の仕事 待ち受ける出展社としてはそれ ズを事前にキャッチして準備 スを制作 に協会訪中団 版権 国の出版社もあ また独自に日本のブースを訪 · う。 総出展社数は になっ 取引と いずれも熱心に本を探 12 ると思った。 そのうち日本 快 • が 広場には残照の 並 い疲労感をお 販売するという会社 て外に出 び、 五 いう国際 々 名が の L り、 出版: %に八二 日本 V 図書の 書籍 ブッ 際図 り立 空の ると日 社 0) エ ぼ の 版 IJ 0) シライ )を超 書博 えなな 権 Ź 販 い 向 0 国 下 -

Ď, を強

出

ような機会は希少であ

ることの

面

### 北海道大学出版会

他に類を見ない実証研究の成果。 I共産 わたる現地調査と文献調査に基づいた、 JΪĮ 田 四八〇頁・六五〇〇円)二〇年以上 **|党の宗教政策と社会変容』**(A 5 『東チベットの宗教空間

 $\blacksquare$ の日本人など、時空を超えた旅の世界へ。 間 世界と歴史』(四六判・二七八頁・二 という死生学の根源的問題を深く思索。 学から見た死生学』(四六判・二六〇頁 著者が、「いかに生き、いかに死ぬか」 一○○○円)長く宗教学を研究してきた 『の概念、イランの王様の旅、万里の長城 ○円)ブッダの旅、 |細田典明編著『旅と交流||旅からみる 宇都宮輝夫著『生と死を考える―宗教 欧州中世の旅と 時 几

学の時間論』(四六判・二七四頁 らに地理学や国際社会学からも論じる。 ア宮廷の食、 た食卓から』(四六判・二七二頁・二四 〇〇円) 仏典·聖書、 ・田山忠行編著『時を編む人間―人文科 |細田典明編著『食と文化―時空をこえ 中国やロシアに見る食、 欧州中世やペル · シ

### 弘前大学出版会

流通、 語る日本農業の底力』(A5判・二四四ルとは呼ばせない―津軽りんご人たちが う。 き、 頁・1二〇〇円) ▼ 今後の国内農業を考えていこうとすると 地が抱える問題点などを多方面から検討。 点を当て、 に聞き取り調査を行い、品種改良、 黄孝春 本書は多くのヒントを提供するだろ 輸出と加工、 ・平本和博著『りんごをアップ 青森りんごの強さの秘密、 青森りんご産業関係者 サポーティングに焦 栽培、



円)本書は、ベトナム農業の して明らかにしようとしている。 りうるのかという問題を、 と経済』(A5判・一七二頁・三二○○ ▼秋葉まり子編著 農業を取り巻く「三農問題」への適 経済発展に伴い深刻化する農村、 金融面でのケーススタディー 合理的な行動をとり得る主体とな 『ベトナム農村の組織 生産、 流 - を通 化 通

関わりについて多様な側面から学ぶ。

の専門家が易しく解説。

人と時間

時間

をテーマに人文科学の様々

### 東北大学出版会

体の 編『コンポスト科学―環境の時代の研究 点を解説。 寧な注釈とともにゼンの発見と観察の 典的名著の日本語訳。 年にドイツで刊行された植物生理学の く理路が縦横自在に織り成される。 らヘーゲルの生の弁証法 とする共同研究の集大成。 円)「共感」と「感覚」を手がかりに、 の論理』(A5判・三六二頁・三〇〇〇 トや模式図、 タフ・ゼン―葉緑体の変形と定位運動』 ▼グスタフ・ゼン著/片岡博尚訳 へ、ジョ スの共通感覚論からカントの美的意識 トという豊饒の沃野のなかに読み解こう の実相と「世界」の成り立ちを、テクス (A5 判・四七四頁・四五○○円)葉緑 中井裕・伊藤豊彰・大村道明・勝呂 座小田豊・栗原隆編『生の倫理と世界 一能動的な動き」 ル 当時の植物学を概観する。 ダーノ・ブルーノの一者論 図版等も忠実に再現し、丁 原著の分類別リス とは? へ。思想史を貫 アリストテレ 一九〇八 **『**グス

利用

## 流通経済大学出版会

あります。 の種の一として私たちを苦しめることも ことば』(A 5 判・八○頁・一○○○円) います。 私たちは人間関係によって支えられて 松田哲著 しかし、その一方でそれは悩み 渡辺博史先生の

迎える人にも必読の一冊になると信じて 分の出方などに不安や迷いを感じている する指針や考え方が必要なのです。 なのです。お互いの信頼関係が築きづら 方が建設的であり、労力も少なくて済む はなく、自分の出方を変えてみる。 人はもとより、これから新しい出会いを い現代社会だからこそ、自分の出方に対 出方次第ということは、 次第で決まる」ということです。相手の のです。それは「人間関係は相手の出方 0) 「自分の出方次第で決まる」ということ これらの言葉は、人生をポジティヴに 自戒のコトバです。相手を変えるので これは故・ 人間関係 能動的な生き方を提供してくれま 渡辺 の持ち方や、 博史先生が残した十 相手から見ると そのための自 その 個

### 聖学院大学出版会

Atsuyoshi Fujiwara, Brian Byrd, eds Walls: Centurial Vision fot Post-disaster Japan Raising Leaders through Sufferings beyond

A Theology of Japan: Monograph Series Vol.9 (B5変型判)【近刊】

代へ」における、 デービッド・ボーアン、ジョージ・カラ ウム「苦難を通し、壁を超えて、 ストの発題、 の関わりと震災の語り」をめぐるパネリ ンティスによる講演、 第三回東日本大震災国際神学シンポジ 分科会報告等を所収。 ホアン・マルティネス、 および、「震災 次の世

理事長・名誉ホスピス長の下稲葉康之氏 神腫瘍科教授大西秀樹氏による「がん医 ら」、埼玉医科大学国際医療センタ チュアルケアを学ぶ6〉(A5判)【近刊】 心─いのちを育む力・委ねる力』〈スピリ 療の現場からみた心の問題」の三講演と のように応えるか―ホスピスの による「死に対峙している魂の苦悩にど 順氏による「いのちを育むホスピスケア ▼窪寺俊之編著『スピリチュアルケアの ヴォーリズ記念病院ホスピス長の細井 死にゆく人に生かされて」、栄光病院 現場か )精

### 聖徳大学出版会

明子・羽生和夫著『幼児理解と一人ひと りに応じた指導』(B5 判・一一六頁 一五〇〇円) 美佐枝・古川 寿子・川 並 珠緒 関 П

幼児理解と指導について網羅した 教育―みんなで進める特別支援』(A5 版 ▼聖徳大学特別支援教育研究室編 一人ひとりのニーズに応える保育と

判・二一八頁・一五二八円 初学者のための特別支援教育本。

のためのおりがみアイディア』(B5判 ▼川並知子・広瀬知里共著『子どもと親

幼児から大人まで楽しめる折り紙遊び ▼川並知子著『さくら紙あそび』(B5 一二八頁・一五〇〇円)

本。

判・六四頁・六五〇円) さくら紙 (お花紙)のあそび方の決定版

11000円 形成のなかから』(四六判・二八〇頁 ▼森彪著『医における癒し―人間関係の

二八〇頁・二〇〇〇円 学から見た音楽と心の関係』(四六判 医療現場での人間的交流の必要性を説く。 村井靖児著『音楽療法を語る―精神医

音楽療法の第一人者である著者の集約本。

伊藤高章、

窪寺俊之両氏の論文を所収。

### 麗澤大学出版会

北海道大の学生たちが講演を中止させる 学で講演する。一九五〇年五月、東北大・ るのは国家安全のため当然だと全国の大 博士は共産主義を信奉する教授を追放す 冷戦が激化し「レッド・パージ(赤狩り)」 領 の嵐が吹き荒れる。GHQのイールズ カーサー元帥率いる連合国軍が日本を占 イールズ事件」を起こした。 熊 ·二〇〇頁·二八〇〇円) 戦後、 野留理子著『日本教育占領』 民主化」を押し進める中、 A 5 米ソ マ vy

を解読しつつ、複雑なGHQ内部での 葛藤などを考察し、「学問の自由 ていなかった彼自身の「イールズ文書 るべきなのか。米国務省史料や分析され (の危機と見なされたレッド・パージに イールズが果たした役割をどう評価 の最 す



# 慶應義塾大学出版会

代表作 清新な一冊。 がれるロシア的霊性を丹念に描き出す、フの「全一性」の思想と、その根柢にな 頂 哲学最高峰のウラジーミル・ソロヴィヨ 三二〇頁予定・予価四五〇〇円)ロシア ▼谷寿美著『ソロヴィヨフ』(A5 判・ ドスターニー語」など計九著作を収録。 七八〇〇円)井筒俊彦のもう一つの真骨 アラビア語入門』(四六判・六七二頁 である言語論集 井筒俊彦著『井筒俊彦全集 アラビア語入門」ほか、「ヒン の思想と、その根柢にな (一九三九— 第十二巻 五五

をより深く理解するための術を伝授。 作者とは誰か。作品とは何か。 ○頁・二二○○円)テクストとは何か。 何か―編集文献学入門』(A5判・二四 ▼明星聖子・納富信留編 テクストとは テクスト

為政者たちは、 国連は無力なのか? 紀』(四六判・二八八頁・二八〇〇円) 連と帝国― 二〇世紀ヨーロッパ史の大家マゾ マーク・マゾワー著/池田年穂訳 世界秩序をめぐる攻防の20世 の理想的国際平和機構論 国連に何を託したのか。 覇権を争う帝国の ´ワーが 国

# 産業能率大学出版

ずつ改善していくような生活を考えてい 判・一八○○円)二人一組のペアによっ リスクについて解説し、 二〇〇〇円)生活の身近なところの環境 考える 生活環境とリスク』(A5判 続いている老舗の事例から解説します。 延びるための方策について一○○年以上 壊れてしまう要因を分析し、 カ』(A5判・二〇〇〇円) 舗に学ぶ―生き延びる企業の組織存続 た実践的な進め方を紹介しています。 に、長年のコンサルティング経験で培 職場に再構築していいけるとの確信の元 成果を出す ただける内容です。 ▼勝田悟著『私たちの住む地球の将来を ▼岡部博・平松陽一著『100年続く老 中田崇著 協力を実体験できる強い協力関係を 『パア』で推進、 業務改善の実践書』(A5 その要因を少し 企業組織 組織が生き 3ヵ月で

の基本書としてオススメの一 が網羅的に解説されており、 ケーショ 織行動論 ▼松本久良著『基礎からわかる経営組 【A5 判・二四○○円)組織構造論と組 ン論)などについて幅広 (リーダーシップ論、 経営組: ₩, コミュ い理

### 専修大学出版局

▼専修大学生と戦争』(A5判・六○ ● 専修大学生と戦争』(A5判・六○

て専修大学の理事会や教授会の議事録、 き取りを多く収録し、また関係資料とし 残って軍事教練や勤労奉仕に従事した学 月の学徒出陣を思い出す方も多いだろう この節目の年に『専修大学史資料集』 業時を問わず)の手記やアンケート、 誰もが否応なく戦争に巻き込まれてい したアジア太平洋戦争が終結してから七 )年という節目の年である。 た教職員、そして専大生(在学時・卒 そうしたことから、 大学生と戦争といえば昭和一八年一二 今年は国内外を問わず多くの犠牲を出 それは大学当局も例外ではない。 出征した学生や卒業生はもちろん、 時の専大生および専修大学が戦争と 慰問や疎開に付き添った教職員など、 回配本となる本書を刊行する。 への報告書なども収録して 本書は戦争を体験 専修大学は、 る。 聞 つ

### | 大正大学出版会

▼大正大学仏教学科編

ッド編/②中国・日柵『お坊さんも学ぶ

仏教学の基礎』①インド編/②中国・日本編(A5 判・三一六頁/三一三頁・本書は、設立母体に天台宗・真言宗豊本書は、設立母体に天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗の四宗派をもつ大正大学の仏教学科が、仏教全般のもつ大正大学の仏教学科が、仏教全般のもつ大正大学の仏教学科が、仏教全般のである。第一篇「釈尊伝と初期仏教」、第四篇「日本仏教」、第三○項目に加え、三○のコラムが配されている。

る。 の画像は、仏教遺跡、 している。 促す補助として図表や地図を活用してい (仏教伝播ルート)等についての 難解な教義や歴史情勢、 また、 あるいは祖師像や仏教美術等 視覚的な理解を助ける仏像や 大正大学所蔵品を中心に掲載 あ る V 理 は 地理 解を

どのように関わったのか、

~の資料

か

周年を迎える大正大学の総力を結集したそ五○人に及び、平成二八年に創立九○

本書の執筆陣は老手から若手までおよ

でに仏教を学んだ者にも必携の書である。

冊だといえる。初学者はもちろん、す

一〇末月刊行予定。

### 玉川大学出版部

海流、 新しい学問のつながりを探る「フィー ▼白山 ド科学の入口」シリーズ最新 究者がフィールドワークの魅力を語り、 について考察する。各分野の最前線の研 技術を紹介し、 に渡る潜水調査の実態と、 探る』(A5 判・二四八頁・二四〇〇円) 深海生物、 義 久·赤坂憲雄 神秘に満ちた深海の世界 レアアースなど、多岐 観測を支える 海の底深くを 刊

略を論じることから、 して根付かせる方法を詳しく解説する。 活用法まで、アセスメントを大学文化と を行うべきか。 円)学生の学びの質を保証するには、ど **ブック』**(B 5 判・三一四頁・五〇〇〇 生の学びを測る―アセスメント・ガイド 報酬の低下などの問題を浮き彫りにする。 のあり方を分析する。 報酬や職域、それらを維持するための戦 弁護士・教員などの専門職集団における ックなどの のように学習目標を立て、アセスメント ▼リンダ・サスキー著 (A5 判・二七二頁・四四○○円)医師 ・橋本鉱市編著『専門職の報酬と職 ツールの使い方、結果の分析 計画策定から、ルーブリ 業務領域の重複や 日本独自の専門職 / 齋藤聖子訳『学

### 中央大学出版部

▼宮下紘著『プライバシー権の復権―自 ▼宮下紘著『プライバシー権の復権―自 マーネットの到来により、大量のデータ ボ氾濫する大海原を航海するためのプラ が氾濫する大海原を航海するためのプラ が氾濫する大海原を航海するためのプラ



▼森勇編著『リーガルマーケットの展開 ▼森勇編著『リーガルマーケットの展開 ▼本勇編著『リーガルマーケットの展開 ▼本勇編著『リーガルマーケットの展開

### 東京大学出版会

権力分立』、以下続刊。 テムと政党組織』、増山幹高『7立法と を総合的・包括的に提示する。 ない政治変容の時代に、 ○○~三二○○円)刊行開始! 十一巻]』(四六判・平均二五六頁・二八 ▼川人貞史編 1議院内閣制』、 をキーワードとして、最新の知見 『シリー 待鳥聡史『6政党シス ズ日本の政治 〈変化、 川人貞史 かつて 比較、

理 学 が、新たに執筆者を加え、認知神経科学・四○○円)信頼のロングセラーテキスト すく語るテキスト。社会調査論の決定版。 円) 質的・量的の別なく「筋のい 八〇頁・二八〇〇円) 鷗外から清張・春樹まで』(四六判・二 ▼藤井省三著『魯迅と日本文学―漱石・ 発達障害・進化心理学を中心に一層充実。 ▼鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃編 の用語(概念)解説によって、 の条件を、 下』(A5判・各三二○頁・各三二○○ ▼佐藤郁哉著『社会調査の考え方 第5版』(A5 判・三八四頁・二 豊富な研究と、目からウロ 魯迅と日本作家た わかりや い調査 上

### 東京電機大学出版品

載し、 基礎、 み進めるうちに PIC マイコンが るプログラミング記述方法についても 要な2進数や論理演算などの情報技術 グラム開発や書き込み動作を行う手法に マイコンの基礎知識、 を持った PIC マイコンを取り上げて、 が可能である。本書では、USB機能 避するなど、幅広い用途で使用すること な状態に保ち、 家電など、 イクロチップテクノロジー 二〇〇円) PICとは、 **ラミング入門』**(A5 判・二〇〇頁・二 せるよう、 ついて解説。 いる小型のワンチップマイコンであ 浅川毅著『C言語によるPーCプログ 基礎知識から実例までを詳解。 PIC マイコンでの C 言語 身近な電子機器の動作を最 初学者向けに解説した。 また、プログラミングに必 動作を制御して危険を回 パソコンでのプロ アメリカの 社が発売して ž 12



ちの影響関係とは?百余年の複雑な日

面を繙く、

### 法政大学出版局

 $\blacksquare$ など、エピソードも盛りだくさん。 をたどる。さまざまな文献にかいま見え けた規制、 る人々と酒との関わり、時の政権から受 五〇〇円) ・西藤洋 田元 『神からの 酒の誕生から近 酒が原因の失敗や夫婦げんか 四六 借 判・二 財 긿 世までの歩み コジモ 頁 •

められた贖罪の悲願を明らかにする。八〇〇円)ルネサンス前夜の欧州におい八〇〇円)ルネサンス前夜の欧州においみなされていた。メディチ家の巨人コジみなされていた。メディチ家の巨人コジー・メディチ』(A5判・二八八頁・三デ・メディチ』(A5判・二八八頁・三

に出現している

〈戦争〉

について論じる。

## 一武蔵野大学出版会

乪

頁

(·二四

00円)

も簡単にはできない。たとえその内容がわからないだけでなく、書き込みの削除んでいる人は多い。誰が書き込んだのかんでいる人でのがいる人は多い。誰が書き込んだのかんでいる人は多にしている。 害について、 対処方法を解説する。 虚偽であっても、 害(仮)』(A5判・二八八頁・二 ▼佐藤佳弘著『インターネットと人権侵 インターネットで起こっている人権侵 悪評となって拡散 数多くの実例をもとにその 多くの人が目 してい < ::.。 K するこ 四〇 現

# 一武蔵野美術大学出版局

れた伝統』(四六判・口絵カラー・三○▼荒井経著『日本画と材料―近代に創ら|□ 戸頂里 亨 行 フビビに帰居

った。 もされる「岩絵具」や「和紙」等、 みを、こんにちそのアイデンティティと としての道を模索してきたのか。 保持しながら、 の要素を求められる特異な近代絵画 統」と「革 た の変遷という観点から検証する。 「日本画」は、生まれながらにして「伝 明 治という新しい時代とともに誕 日本画は如何にして日本らしさを 新、 西洋に伍する新たな美術 その一見矛盾する二つ その歩 材料 『であ

とは何か」を考察する。 渡航調査等を総合 化を辿る。 て、 料を手掛かりにした材料史的研究を通し 科学調査を皮切りに、 王捉鬼図》 った東アジ 日本画家の祖とされる狩野芳崖作 明治から現代までの日本画材料の変 ア各国 さらに、韓国 の蛍光 X 線分析による自然 į 0 国 多角的 号絵 他の調査や文献資 画 画 に に 中 国画 ついての 日 とい 本

研究の次なる方向性を示す。 者が、近年の研究成果をまとめ、日本画日本画家にして気鋭の研究者である著

### 明星大学出版部

と学校の管理運営』(A5 判・五一○頁・ 九〇〇円 教育の行政・制度

経営の分野を法制の観点から見直し、 に見直し加筆を施して改題した。 本法に始まった教育法規の改定に対応し 的根拠を解説する。平成一八年の教育基 現代の公教育を支える教育行政、 旧『教育行政と学校経営』を抜本的

(A 5 判・四六四頁・二六〇〇円) 樋口修資著 『最新 教育法の基 礎

申等のコラムと参照条文を設け、 各法令の旧法と改正法を例示し、 等を詳述した。各章に、 教育法規の体系を一五章に分けて解説。 教育法規のキーワード」を六○篇付した。 教育政策の法制・組織・財務に関する 判例や中教審答 巻末に 変更点

育の見方・考え方が変わる』(A5判 す君たちに受けさせたい論作文講座― 六〇頁・一六〇〇円 明星大学教職センター編『教員を目指 教

教員・教職志望者には必携の書。

【望』(A5 判・四二○頁・二八○○円) 青木秀雄著『教育学―人間科学からの 人間性と人間形成の教育学』の第2版

の必要性を説く。

# 関東学院大学出版会

造の普及など、 いて平易に述べる。 の検討、地震動を低減する免振や制振構 て』(B5 判・一九二頁・二六〇〇円) |耐震設計・基礎編||性能設計に向け 建設地の地震動、 棈木紀男・規矩大義編著『建築と土木 耐震設計の基礎分野につ 大地震時の崩壊状態

設計』(B 5 判・二〇八頁・二三〇〇円) に経験豊富な構造設計者にも新しい設計 学者の学びを容易にするとともに、 ▼棈木紀男・高島英幸編著 近年大きく変化している建築の構造設 特に耐震設計法を平易に解説し、 『建築の耐震 すで

と管理実践で得た管理事例や提言を紹介 化」と時代のニーズに応えた改善による 体である。それらマンションの ってのみその進路が決まる居住運命共同 マンションの長寿命化と再生への指針』 法になじめるように工夫された解説書。 ▼山本育三著『マンションの動的管理─ 再生」を目標に、 A5判・一二八頁・一八〇〇円) マンションは、区分所有者の合意によ マンションの積極的な管理 著者の豊富な研究歴 「長寿命 「動的管

### 東海大学出版部

判・二一二頁・二〇〇〇円) フィールド にすべてを捧げたクマムシ博士の物語 の生物学シリーズ第⑮弾。地上最強生物 堀川大樹著『クマムシ研究日誌』(B



円)。今回の特集は「盛岡と賢治の思い出」。 第2輯』(A5判・二○八頁・一六○○ ▼岩手大学宮澤賢治センター編



頁・二九○○円)今回の特集は「《ト ンポシオン2015』(A5判・一六八 スタンとイゾルデ》 ▼日本ワーグナー協会編『**ワーグナーシュ** 初演一五〇年」。



### 名古屋大学出版会

▼上村泰裕著『福祉のアジア―国際比較 で生きる』(A 5 判・三六八頁・五四○ 一門)教祖亡き後、その存続をかけて自己形成をはかる新宗教。戦争へと向かう己形成をはかる新宗教。戦争へと向かう己形成をはかる新宗教。戦争へと向かうるがの中、指導者や信者たちは必要を担いる。

試みる。 | おら政策構想へ』(A5 判・二七二頁・ の福祉拡充に向けて、私たちは何をなす の福祉拡充に向けて、私たちは何をなす のでは、 

▼ R・クーパー著/母本石司告尺『こう をめぐる問いに、いかに向き合うのか。 思考を応用して精神医学の世界をつぶさ 思考を応用して精神医学の世界をつぶさ と分析。複雑化する精神疾患や臨床試験 をめぐる問いに、いかに向き合うのか。 をめぐる問いに、いかに向き合うのか。 をめぐる問いに、いかに向き合うのか。

アルミニウム産業の将来展望

含む六巻を収録。古今東西の文芸に通

した訳者による本邦初完訳。

(全四冊

### 三重大学出版会

和元著『日本のアルミニウム産業』

(A5判・二九八頁・二九七○円) 日本のアルミニウム産業概論/第1 節 世界のアルミニウム産業機論/第1 節 世界のアルミニウム産業の特質 日本のアルミニウム産業の特質 日本のアルミニウム産業の特質 日本のアルミニウム産業の特質 日本のアルミニウム産業の特質 の展開/第1節 戦前期から戦後復 戦期まで/第2節 高度成長と製錬業 への新規参入

■ 第 3 章 ■第4章 第5章 退/第1節 アルミニウム製錬からの撤退 ナショナルプロジェクト/第4節 効果/第3節 策/第2節 第1節 、ルミニウム地金の開発輸入/第3節 /第1節 節 政府のアルミニウム産業政策の評価 海外製錬の展開 日本アルミニウム製錬業の衰 アルミニウム製錬政策の 外部環境の変化/第2節 資源の開発輸入/第2節 アルミ製錬撤退の影響 —国際分業体

# | 京都大学学術出版会

▼鈴木哲也・高瀬桃子著『学術書を書く』 ▼三浦岳著『発生の数理』(A5 判・二 一て、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 って、読者の措定、編成と記述の在り方、 ので選とその本質的問題まで立ち返 り・実践的に論じた初めての手引き。 り・実践的に論じた初めての手引き。

# 大阪経済法科大学出版部

今回は既刊書の紹介です。

、 築のロードマップ』(A 5 判・三○○頁・東アジアの平和構築―緊張緩和と信頼構 東アジアの等の等が、 東アジアの等が表示。 東アジアの等が表示。 東西に、 東面に、 

ジアの平和構築(魏栢良)他 日本外交(豊下楢彦)/第2章 北東ア 題/第1章 北東アジアの構造変容と 第一部 北東アジア情勢と平和構築の課

世中立(澤野義一)他論の検討/第6章 集団的自衛権と永第二部 平和と安全保障における自衛権

しての市民社会のネットワーク(梅田第2章 信頼醸成のためのアクターと第三部 市民による平和と人権の推進/

▼藤本和貴夫・宋在穆編『21世紀の東ア

第一部 平和と安全保障

第三部 国際移住と共生社会第二部 持続可能な経済発展と環境保全

的側面から考察。

言語移行の動態を社会的、

文化的、

移民と沖縄移民に初めて焦点を当て、日頂・談話音声資料付・六五〇〇円)子供

沖縄方言と現地語との言語接触と

### 大阪大学出版会

供移民と沖縄系移民』(A 5 判・三一八ダイナミズム―ブラジル・ボリビアの子多面的に論考する。▼工藤真由美・森幸多面的に論考する。▼工藤真由美・森幸百・五○○円)日本の法をいかに世界頁・五○○円)日本の法をいかに世界百・五○○円)日本の法をいかに世界

### 関西大学出版部

▼伊藤誠宏著『17世紀フランス文法家証四五○○円)本書は、視覚の生態学的視四五○○円)本書は、視覚の生態学的視四五○○円)本書は、視覚の生態学的視四五○○円)本書は、視覚の生態学的視ので、でで、「見る」という心る際の問題について、「見る」という心る際の問題について、「見る」という心る際の問題について、「見る」という心る際の問題について、「見る」という心る際の問題について、「見る」という心を表情の識別に

**言集Ⅳ―動詞』**(A5 判・四五○○円) 一七世紀フランス文法家における動詞の 一七世紀フランス主の形成に寄与して である。近代フランス語の形成に寄与し 形態に関する見解を収集した資料文献集 形態に関する見解を収集した資料文献集

▼関屋俊彦著『続狂言史の基礎的研究』 以来、二○年ぶりに狂言を史的 の研究』以来、二○年ぶりに狂言を史的 の研究』以来、二○年ぶりに狂言を史的 で学史を念頭に置いて書かれた恩師伊藤 家文書と新生田文庫本を軸に展開。常に 観点から総括。新たに見出された大蔵宗 で学史を念頭に置いて書かれた恩師伊藤 正義氏の遺訓を胸に、改めて問う人間喜 正義氏の遺訓を胸に、改めて問う人間喜

### 関 西学院大学出版会

 二八四頁・四二〇〇円 倉 暗 い谷間を照らした一筋の光芒』(A5 田 和 四生著 『中島重と社会的基督教

頁 の先をデザインする』(四六判・一 ▼工藤保則著『カワイイ社会・学─ (・一六〇〇円) 五六 成

本 を再生する―家づくりから見えてくる日 ▼齋藤由紀編著/李建志著 |四頁・二二〇〇円 ・の文化破壊と文化継承』(四六判・二 『京都 ö 町家

三〇四頁・四六〇〇円 樫原義比古著『日米比較 判例法理の展開を中心に』(A5判 競業禁止特

祉政策の生成と展開―企業パトロナージ 業アソシアシオン』(A5 判・七三六頁 ュ・企業パテルナリスム・キリスト教企 ·岡田益三著『フランスにおける企業福

Activities』(B5判・一五二頁・二三〇 English—With Practical Classroom 大喜多喜夫著 To Learn How to Teach

とこれから』(A5判・一五二頁・一六 吉村文成著『日本とアジア―これまで

### 広島大学出版会

四〇〇円) 革と法制整備』(A5判・四○九頁・三 ▼木下正 俊著 わが国の金融システム改

身の書。 送船団方式」 法的インフラ整備の取組みを検証した渾 して私たちは今、どのような地平に立 伴う銀行不良債権問題の解決を中心とす ム改革を多面的に捉え、改革を実現する ているのだろうか。わが国の金融システ る金融システム改革を推進してきた。 わが国 は一 からの 九九〇年代後半以降、 転換とバブル崩壊に 護 つ

月刊行予定 害』(B5判・予定価格二五○○円・十 表の変化― ▼於保幸正・海堀正 嵐 【化・侵食・地形・土砂災海堀正博・平山恭之著『地

で暮らす上では避けては通れない土 を歴史的な観点を含めて解説する。 る上で示唆に富む一 て地形の形成や災害と結び で起こる身近な自然現象が 徴を俯瞰 中国地方の地形や近年の Ľ 何ができるの 日常生活の中であらかじめては避けては通れない土砂災 岩石の風化や侵食など地表 ₩ か、 どのようにし 土砂災害の特 ついてい 災害に備え · 日本 か

〇〇円)

地方創生論のさきが

例に学ぶ

[新装版]』

(A5 判・三八 け、

山間地域とソーシャル・キャピタルの

### 九州大学出版会

研究と、 行い、我が国司法に奮起を促す。 る稀有な書。 商取引の二大決済制度の双方を対象とす を求めて』(A5 判・四五〇〇円)国際 イ信用状各論―「国際競争力のある判決 橋本喜 法解釈論的研究を同時並行 一『荷為替信用状・スタンドバ 独法を中心とした比較法的

すには? 力を高めるには? み』(B5判・一八〇〇円)教師の教育 ティ・ディベロップメントへの取り組 教師が変わる、学生も変わる―ファカル 太加志編『シリーズ 北九大の挑戦 3 ▼川尻要『ダイオキシンと「内・外」 ▼北九州市立大学監修/中溝幸夫・松尾 北九大のFD事例を紹介。 学生自らの学びを促 環

に基づく知見から解説。 史を振り返り、ダイオキシン受容体研究 類が経験してきたダイオキシン汚染の歴 境―その被曝史と科学史』(A 5 判・三 ▼堤研二『人口減少・高齢化と生活環 ○○○円)枯葉作戦、 カネミ油症など人

(46) ±11 17 ±17 181 ±1		
(株) 朝日新聞社 〒104-8011 東	東京都中央区築地5-3-2	TEL 03-5540-7749
亜細亜印刷(株) 〒380-0804 長	長野県長野市大字三輪荒屋1154	TEL 026-243-4858
	東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館408	TEL 03-3235-1360
尼崎印刷㈱ 〒661-0975 月	兵庫県尼崎市下坂部3-9-20	TEL 06-6494-1122
(株) A L E 〒103-0023 東	東京都中央区日本橋本町2-8-6 日本橋ビル4階	TEL 03-5652-8627
王 子 製 紙 ㈱ 〒104-0061 東	東京都中央区銀座4-7-5	TEL 03-3563-7072
岡本出版発送㈱ 〒353-0001 坪	奇玉県志木市上宗岡3-16-2	TEL 048-471-6291
	東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル10階	TEL 03-5542-1950
(株)加藤文明社印刷所 〒101-0061 東	東京都千代田区三崎町3-6-9 NEX 水道橋ビル	TEL 03-3261-8281
	區岡県福岡市中央区白金2-9-6	TEL 092-531-7102
	東京都目黒区下目黒3-7-10	TEL 03-6910-0510
	愛知県名古屋市熱田区桜田町19-20 名古屋本部	TEL 052-871-9190
(株) 粂川印刷 〒112-0012 東	東京都文京区大塚6-9-7	TEL 03-3943-9811
	東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル4F	TEL 03-3525-8001
	東京都渋谷区渋谷2-7-7	TEL 03-5466-2201
	〔京都千代田区西神田3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館14階	TEL 03-6823-5360
三 美 印 刷 ㈱ 〒116-0013 東	東京都荒川区西日暮里5-9-8	TEL 03-3803-3131
	東京都千代田区三崎町3-2-10 寺西ビル3F	TEL 03-3261-5171
	長野県長野市川中島町今井薬師堂1822-1	TEL 026-285-2300
	東京都千代田区飯田橋4-1-11	TEL 03-3237-3601
	長野県長野市三輪荒屋1196-7	TEL 026-244-7185
	東京都渋谷区猿楽町19-2	TEL 03-3462-1181
	東京都新宿区山吹町342	TEL 03-3269-3611
	東京都千代田区神田錦町3-9	TEL 03-3293-3021
	京都府京都市中京区高倉通二条上ル天守町766	TEL 075-255-2288
	左賀県佐賀市久保泉町上和泉1848-20	TEL 0952-71-8550
	東京都港区新橋6-17-19 御成門ビル	TEL 03-5402-1811
	東京都品川区東品川1-6-16	TEL 03-3474-2821
	支阜県本巣郡北方町北方148-1	TEL 058-324-2111
	東京都千代田区飯田橋3-7-14	TEL 03-3261-5335
	東京都千代田区神田錦町3-12-6	TEL 03-3292-3617
	東京都清瀬市元町1-4-5-711	TEL 0424-92-4359
	東京都千代田区神田神保町1-34	TEL 03-3291-1771
	東京都中央区銀座8-11-11	TEL 03-3571-6000
	東京都江東区常磐2-12-15	TEL 03-3632-0801
	豆都府京都市上京区油小路通中立売上ル 油橋詰町93-7	TEL 075-411-8288
	東京都北区東十条3-10-36	TEL 03-5843-9700
	東京都千代田区大手町1-3-7	TEL 03-5255-2198
	東京都文京区後楽2-21-12	TEL 03-3811-4272
	東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー19F	TEL 03-6441-6711
	東京都千代田区神田小川町2-4-5	TEL 03-3291-0191
	東京都豊島区南大塚2-35-7	TEL 03-3944-0301
	奇玉県戸田市笹目3-11-5 	TEL 048-422-0029
	東京都千代田区一ツ橋1-1-1	TEL 03-3212-3340
	東京都板橋区東坂下1-19-5	TEL 03-3967-3952
	大阪府大阪市淀川区木川東4-17-31	TEL 06-6304-9325
	東京都千代田区大手町1-7-1	TEL 03-3242-1111
	東京都千代田区神田紺屋町11 岩田ビル5F	TEL 03-3251-7571
渡 辺 印 刷 (株) 〒152-0031 東	東京都目黒区中根2-7-1	TEL 03-3718-2161

一般社団法人大学出版部協会は、私たちの活動をご理解・ご支援下さる皆様による「賛助会員」制度を設けています。ここに趣旨にご賛同下さり、ご支援頂いている各社様をご紹介させていただきます。なお「賛助会員」に関するお問い合わせは協会事務局までお寄せ下さい。

### 書店で本が見つけられない…そんなときは!



http://www.e-hon.ne.jp

ネットで注文して、お近くの本屋さんで受け取れます。



入会金・年会費 無料

会員登録後、すぐ注文が可能と なります



### 在庫100万点

専門書からテキストまで、充実の ラインナップ。卸会社運営サイト ならではの圧倒的な在庫量



書店受取なら 送料手数料無料 書店での受け取りは、冊数・金額 関係なく送料は完全無料



プライバシー厳守の完全個別梱包

中身を人に知られない、安心の 個別梱包でお届けします

### 求厶、名探偵。



全国の本屋さん×ネット書店「e-hon」 謎解きキャンペーン第2弾開催!! ~暗号を解読して、謎の作家失踪事件を解決しよう~



応募期間 | 2015年10月1日(木)~11月15日(日)



√謎解きにはこの良本(いーほん)新聞が必要だ。 今すぐ参加店で手に入れてくれたまえ!!

全国約2,000書店で開催。参加店一覧など、 キャンペーン詳細はこちらヘアクセス! ⇒

いーほん



〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24 株式会社トーハン

東京学芸大学出版会

### デジタル時代の メディア・リテラシー教育

中高生の日常とメディアと授業の融合

ルネ・ホッブス 著 森本洋介・和田正人 監訳

TV 番組やインターネットなどアメリカで起こっ ている事例をもとに、リテラシーをどう教育 するか具体的に解説しています。

B5 判 208 頁 2000 円+税

### 小学校社会科を教える本

大石学・上野和彦・椿真智子 編

地球規模で生命と環境問題が激化している 今、次世代をになう日本の子どもたちに考え させるべきことが満載されています。

B5 判 180 頁 1600 円十税

### 未来に生きる子どもづくり

構造学習論の発展と充実の軌跡

金井里子・太田由紀夫 編著 B5 判 398 頁 2000 円+税

[TEL] 042-329-7797 [FAX] 042-329-7798 [HP] http://www.u-gakugei.ac.jp~upress

### 既刊 40 点「研究の WASEDA」 早稲田大学学術叢書

### 本復帰と反復帰

戦後沖縄ナショナリズムの展開

戦後沖縄の帰属論争を「日本復帰」と 「反復帰」の対立構造ととらえ、その対立の構造を 分析し、それぞれの主張を検討する。6,900円(税別)

### An Automodular View of Ellipsis

Ueno. Yoshio 著 「An Automodular View of English Grammar」の続編。シカゴ大学言語学科名誉教授 J.M. Sadock氏により提唱されたAMG言語理論をさら に発展させる。全編英文。 8.400円(税別)

### 中国独占禁止法

法体系とカルテル規制の研究

陳丹舟著 従来、社会主義国家とは無縁と考えら れた独占禁止法が中国において制定されるまでの 経緯、アメリカ・ドイツ・日本など競争法先進国と の違いを明らかにする。 7,800円(税別)

### 早稲田大学出版部

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-12 ☎03-3203-1551 http://www.waseda-up.co.jp/

### 好評発売中

### 慈悲深き神の食卓

**――**イスラムを「食」からみる<del>―</del>

八木久美子 著

イスラムの教えに従って生きるとはどのような ことか。「食べる」という人間の根源的な営み をとおして、教義や儀礼をなぞるだけでは知り 得ない、イスラムのリアルな姿に迫る。現代の 新たなる宗教論。

四六判・264 頁・定価: 本体 2400 円+税

### 人はなぜ フィールドに行くのか

### 床呂郁哉 編

人類学、地域研究、言語学、歴史学、霊長類 学など、異なる分野でフィールドサイエンス に関わる第一線の研究者たちが、フィールド ワークの根源的な問いについて語る。

A5 判・304 頁・定価:本体 2,300 円+税

### 東京外国語大学出版会

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL: 042-330-5559 URL: www.tufs.ac.jp/blog/tufspub/

る宗教学の新たな展開。 定価2500m 定価2500m スモロジーを構築する被抑圧者や先住民の宗教性に植民地主義による抑圧の経験のなかから、新たな始にリチャード・ガードナー、村上辰雄田 共同体 0) 展

**产注源** 十日の編 桂子

### に問う、待望のあの『子育で学 ý ファミリー から四半世紀、 定価1250円十税世紀、満を持して世

〈発行〉Sophia University Press 上智大学出版 http://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/ publication/SUP

〈発売·注文〉〒136-8575東京都江東区新木場1-18-11 ぎょうせい TEL:0120-953-431 FAX:0120-953-495



表紙写真:京都「ミシマ社の本屋さん」内観

「ミシマ社の本屋さん」は、出版社・ミシマ社の 京都オフィスを兼ねた直営の書店、京都市左京区の 鴨川のほとりの古民家を改装した店舗である。 曼と掘りごたつの空間で、本の作り手と読み手が 直接交流する姿は、同社が出版する本の世界観を そのまま表現したものでもある。 大学出版 104号(2015年秋) 2015年10月1日発行 頒価 100円(〒共)

発行所:一般社団法人 大学出版部協会 ISSN 0913-3305 振替 00170-8-389131

**〒**102-0073

東京都千代田区九段北1丁目14番13号 メゾン萬六403号室 TEL 03-3511-2091 FAX 03-3511-2092

E-mail: mail@ajup-net.com URL: http://www.ajup-net.com/

表紙デザイン:阿部卓也

### 一般社団法人 大学出版部協会 加盟出版部一覧

### ■北海道大学出版会

〒060-0809 札幌市北区北9条西8丁目 北海道大学構内

TEL 011-747-2308 FAX 011-736-8605

### ■ 弘前大学出版会

〒036-8560 弘前市文京町1 番地 弘前大学附属図書館内 TEL 0172-39-3168 FAX 0172-39-3171

### ■ 東北大学出版会

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学構内

TEL 022-214-2777 FAX 022-214-2778

### ■ 流通経済大学出版会

〒301-8555 龍ヶ崎市平畑120 TEL 0297-60-1167 FAX 0297-60-1165

### ■ 聖学院大学出版会

〒362-8585 上尾市戸崎1-1 TEL 048-725-9801 FAX 048-725-0324

### ■聖徳大学出版会

〒271-8555 松戸市岩瀬550 TEL 047-365-1111 FAX 047-363-1401

### ■ 麗澤大学出版会

〒277-8686 柏市光ヶ丘2-1-1 TEL 04-7173-3320 FAX 04-7173-3154

### ■慶應義塾大学出版会

〒108-8346 港区三田2-19-30 TEL 03-3451-3168 FAX 03-3451-3124

### ■産業能率大学出版部

〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15 TEL 03-6432-2536 FAX 03-6432-2537

### ■ 専修大学出版局

〒101-0051 千代田区神田神保町 3-10-3 TEL 03-3263-4230 FAX 03-3263-4288

### ■大正大学出版会

〒170-8470 豊島区西巣鴨 3-20-1 TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3038

### ■玉川大学出版部

〒194-8610 町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940

### ■ 中央大学出版部

〒192-0393 八王子市東中野742-1 TEL 042-674-2351 FAX 042-674-2354

### ■ 東京大学出版会

〒153-0041 目黒区駒場 4-5-29 TEL 03-6407-1069 FAX 03-6407-1991

### ■ 東京電機大学出版局

〒101-0047 千代田区内神田 1-14-8 TEL 03-5280-3433 FAX 03-5280-3563

### ■法政大学出版局

〒102-0073 千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎内 TEL 03-5214-5540 FAX 03-5214-5542

### ■ 武蔵野大学出版会

〒202-8585 西東京市新町1-1-20 武蔵野大学構内

TEL 042-468-3003 FAX 042-468-3004

### ■ 武蔵野美術大学出版局

〒180-8566 武藏野市吉祥寺東町 3-3-7 TEL 0422-23-0810 FAX 0422-22-8309

### ■ 明星大学出版部

〒191-8506 日野市程久保2-1-1 TEL 042-591-9979 FAX 042-593-0192

### ■ 関東学院大学出版会

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL 045-786-5906 FAX 045-785-9572

### ■ 東海大学出版部

〒257-0003 秦野市南矢名3-10-35 東海大学同窓会館3 階 TEL 0463-79-3921 FAX 0463-69-5087

### ■ 名古屋大学出版会

〒464-0814 名古屋市千種区不老町1 名古屋大学構内 TEL 052-781-5027 FAX 052-781-0697

### ■三重大学出版会

〒514-8507 津市江戸橋2-174 三重大学附属病院5 階 TEL 059-232-1356 FAX 059-232-1356

### ■ 京都大学学術出版会

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町69 京都大学吉田南構内 TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190

### ■ 大阪経済法科大学出版部

〒581-8511 八尾市楽音寺6-10 TEL 072-941-9129 FAX 072-941-9979

### ■大阪大学出版会

〒565-0871 吹田市山田丘2-7 大阪大学ウエストフロント TEL 06-6877-1614 FAX 06-6877-1617

### ■ 関西大学出版部

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162

### ■ 関西学院大学出版会

〒662-0891 西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL 0798-53-7002 FAX 0798-53-9592

### ■ 広島大学出版会

〒739-8512 東広島市鏡山 1-2-2 TEL 082-424-6226 FAX 082-424-6211

### ■九州大学出版会

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-8-34 九州大学産学官連携イノベーションプラザ 305

TEL 092-833-9150 FAX 092-833-9160

### ■ 東京農業大学出版会(休会)

〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1 TEL 03-5477-2666 FAX 03-5477-2747

nese ersity sses

104 5.10